

1. 件名:「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-102)、
廃棄物管理施設(77)、MOX燃料加工施設(2-62))」

2. 日時:令和5年9月29日(金) 10時00分~12時15分
13時30分~14時30分

3. 場所:原子力規制庁 8階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

長谷川安全規制管理官、古作企画調査官、大橋上席安全審査官、岸野主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、新井安全審査官、小野安全審査官、上出安全審査官、山口係員、横山原子力規制専門員

日本原燃株式会社

決得 執行役員 再処理・MOX設工認総括副責任者 他5名

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和5年9月27日及び9月28日の提出資料に基づき、以下の事項について確認を行った。

- ・今後の進め方(各タスクの対応方針を含む。)
- ・入力地震動の策定に係る当面の説明内容について

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

- ・今後の進め方については、最終的な目標に向けての長期的な進め方を整理し、その中で現在の進捗状況が分かるように整理する。また、再処理施設及び廃棄物管理施設の申請対象設備の類型等については、分類の考え方やなぜそう整理したのか、どう説明していくつもりなのか考え方を明確に示す。
- ・入力地震動の策定に係る当面の説明内容については、各検討の結果ではなく、その検討プロセスや判断基準とそれらの妥当性の考え方が重要であることを意識して説明内容を整理する。

6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

7. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html
- ・ 令和5年9月27日
「日本原燃(株)再処理施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和5年9月28日
「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	録音開始しました。
0:00:04	規制庁ヨコヤマです。それではただいまから、日本原燃とのヒアリングを開始します。
0:00:09	本日のヒアリングは、令和4年12月26日に申請があった、再処理施設及び廃棄物管理施設、
0:00:17	令和5年2月28日に申請があったMOX燃料加工施設について、
0:00:25	9月27及び28日提出の資料をもとにヒアリングを行うものになります。
0:00:30	あと、規制庁が出席者は本庁からコサクオオハシフジワラアライ。
0:00:37	オノヨコヤマ。
0:00:40	ウェブからカミデハバサキヤマグチ。
0:00:44	以上となります。
0:00:46	それでは日本原燃から出席者の紹介と、今回の議題と説明範囲、達成目標を説明してください。
0:00:54	はい。日本原燃事務局の中浜です。
0:00:57	日本原燃側の出席者紹介いたします。
0:01:02	Steeringチームより、ケツク、
0:01:05	ハセガワ、ノモト、
0:01:07	イシグロ、タカヤ、
0:01:09	イシハラ、
0:01:11	六ヶ所側からMOX及び再処理の事務局参加させていただいてございます。
0:01:18	本日ご確認いただきます資料でございますけれども、昨日紹介がありました、先ほど紹介がありました、28日、昨日ですね、
0:01:27	ご提出差し上げました今後の進め方、本文と、共通12に関わる対応方針、
0:01:35	水及び化学薬品漏えいに関わる対応方針、
0:01:39	竜巻に関する対応方針、
0:01:42	そして21日にご提示差し上げました入力地震動策定に関わる当面の説明内容について、以上の資料となります。
0:01:51	それでは今後の進め方から、ご説明を開始させていただきます。よろしく申し上げます。
0:01:58	はい。乳井イシダでございます。それでは9月10、
0:02:02	今後の進め方の資料でございます。

0:02:06	まず、前回のやりとり踏まえまして1ポツの、今後の審査会合での説明方針ということの、前段として全体どういうふうに進めていきたいかということ、
0:02:18	別件値ということで、右下3ページですか、
0:02:25	全体の関係。
0:02:27	次させていただきました。
0:02:31	以前1月の審査会合からお話をさせていただいている一番にポスターを打つという流れ。あとは、2の中でも2-1、2-2と、
0:02:42	いうのがあるものを、全体どういうふうな関係で進めていこう。
0:02:46	いうこと、また協調上にやらせていただけてますけど、まだ全然進んでないんですけど、そのあと0に反映したりリリース以上長いといった全体像があると思ってます。そういう流れを、
0:02:59	示させていただきました。今、点線で困ってる枠が今進めている個別のタスクで走らせているいろんな業務の中を書かさせていただいて、
0:03:13	全体的な枠として若干右の下のやつの方は9月、
0:03:18	ですけど、今進めているというふうにはしております。
0:03:21	一応そういうつもりで整理をさせていただけてます。
0:03:26	大きく1ポツの関係で入力地震動の策定を今進めて、
0:03:31	それが結局どこに効いてくるか。
0:03:34	基本地盤モデルの設定ですとか、
0:03:37	策定をすると、FRS等の耐震計算が飛んできて、それが、どこで矢印を入れるかっていうのは
0:03:45	2-2の世界3-2の世界に対して、計算書の作成方針であったり計算法の所のまとめ方みたいなものは結果がなくてもある程度枠組みは、
0:03:55	できるんじゃないかなという気もしていて、右側の方に、やはり急いで計算結果Aという形にさせていただきます。できることは前もってやっていこうというのがこの
0:04:06	線が入ってる趣旨でございます。
0:04:09	あとそれと並行してというかニノイチの話を今進めさせていただいて、MARK-II12ってどういうものすんだという、全体像とかMOXのグループ説明グループ1をして共通でということを書いていくのかという整理をさせていただいている。
0:04:25	あとはそれを踏まえて再処理をどう走らせるかっていう意味で、設計説明分類説明の設定ですとか、溢水とか竜巻に今やらせていただいている

	る要求事項を踏まえた構造設計と解析の仕分けの話であったり、DBS Aの共通項の政治なり、
0:04:40	ということが走っていると、ということだと認識をしています。
0:04:44	若干の点線と、その下の共通2つのが、ラップして走っているものもありますんで示し方が若干難しい事実があるそういう形で全体を示させていただきました。
0:04:55	また3月ぐらいから、何もハタを発信してませんが申請書文が最後の申請書の反映の前に、
0:05:03	整理をさせていただこうかということで考えております。はい。
0:05:07	今ほどの3ページの、
0:05:12	共通中に関して2-1、2-2のところの点線の枠の、
0:05:16	ところが、次の4ページがタスクそれぞれ今走っているタスクに、
0:05:21	反映をされて個別に今やらしていただいているという関係になっていると理解しています。
0:05:27	一部
0:05:30	4ページ目の緑の線のところですね、設計説明グループとか設計設備分類であったりの製品と、あとはDBSAのミスイ化学薬品、竜巻で走らせている関係が、
0:05:41	の細かい部分が柳下5ページで、今直近で進んでるものの流れに繋がる。
0:05:48	前回5ページのところは、設計設備コールセンターグループの設定は一番多くの病棟に本体のタスクでやりますと言ったんですが、
0:05:57	それぞれのタスクで走らせているの整理の結果が正しくそこに反映される部分もあるので、そういう地域も含めて整理をさせていただいたと。
0:06:05	ということでございます。
0:06:07	はい。
0:06:08	あとはそれを踏まえて、6ページの実現できるかどうかは、今後の整理も含めて整理をさせていただくということに、
0:06:16	全体の説明グループのジョイントの仕方は、共通項があんまりないとは言いながらも、それ大丈夫な説明グループイトウMOX設備グループにオンダレベルの要員としてやるとかですねそういうことは考えながら、
0:06:29	合理的に説明ができるように進めていく。
0:06:32	考え。
0:06:34	というのが、6ページ目の趣旨でございます。
0:06:37	はい。そういった形に全体像を示し、流れを変えていった時にちょっと、

0:06:44	3 ページにスケジュール感が入ってないところがあるんですけども、1 ページ目に戻っていただいた直近の審査会合を進めていくんだと。
0:06:53	いうところに繋がるのかなと。
0:06:56	基本は 10 月 11 月にそのあとも含めて、ベースにあるのは 1 ポツをまずちゃんと片付けないと。
0:07:04	新野市田委員の 2 の最後の 2-2 の骨格の計算結果に紐付けられないので、まずこれを優先して進めさせていただくという意味で、10 月 11 月その後と、
0:07:15	ということで、入力地震動の策定関係の、
0:07:19	審査会合案件を進めさせていただくと。
0:07:22	とはいえ、1 が終わらないと、ヒグチができないかという、できる範囲のところは当然やっていきたいということもありますんで、
0:07:31	2-1 のシステム設計構造設計のところも、共通中にですね、
0:07:36	進めさせていただくと、10 月は前回も申し上げます再処理の設計、再処理廃棄物管理の設計説明分類説明グループの設定、これは次の
0:07:46	説明グループ 1 の説明につなげるためにということと、MOXの説明グループ 1 の、
0:07:51	2-1 の説明をさせていただくということ。
0:07:55	現状の整理からいきますと、11 月は、
0:08:00	MOXの設備グループ 1 がフィニッシュに計装もないので、11 月も継続してやらさせていただくということかなと思ってます。
0:08:09	加えて、今日の別添 3 でも入れてますが、
0:08:12	資料 4、2-2 の話も早めに整理をしておかなきゃいけないので、そういった整理の話も、11 月の時に大枠こういうふうに整理をしていくんだと。
0:08:22	累計っていうのとあと添付書類との関係等を整理していくんだと、説明の仕方をどうするんだというところを、
0:08:28	整理をさせていただきたいなと思っているところでございます。
0:08:33	でそのあとはMOXの説明に加えて最初に廃棄物管理側の病院として入っていく。
0:08:40	いう流れで提示していければなど。
0:08:43	うん。
0:08:43	ございます。
0:08:45	はい。1 ぽつ関係は、そういったことで整理をさせていただきました。2 ポツは、そういう進め方をする中での直近今やっている式の対応の状況をまとめさせていただきました。これも

0:09:00	逆に言えば中長期的に見て、どういうタスクが走っているのかっていうのを整理する必要があるんですが、今日の段階段階では資金の対応のところだけピックアップしていきたいというのが状況でございます。はい。
0:09:12	これを、対応方針何が必要になるところが若干気になる場所ではありますけど、
0:09:17	説明グループ1のボックス側の走っているもの、あとは再処理の設計説明ぶり説明グループの設定といったもの、
0:09:25	あとは、ピースケシリーズ仕分けをまたタスクとして、竜巻とかSEがやっていますけども、
0:09:32	そういったものと、あと残りをどうするんだという流れですね。
0:09:36	どう考えてるかっていうのを書かさせていただきました。
0:09:41	すいません、また日付が間違っていますね。
0:09:45	1ページの一番最後から2番目の連携のところは9月14日って書いてますが、これが10月2日。
0:09:51	資料提出で10月5日日や、
0:09:53	間違いでございます。はい。
0:09:56	竜巻とかでやった以外のところで、外傷の他の事象も当然ありますし、
0:10:02	あと
0:10:04	外遊で内部発生飛散物もSAとDB、両方、これまでやらなきゃいけないっていう体験もありますので、
0:10:11	そういったものが今現状は、また手書きでやっている一斉にやっているページを見ながら、共通に本体側で全体他のものを下がって整理をしていくと。
0:10:21	なるべく押しタカオですね、その上の、
0:10:24	説明グループの設定をするときにどっちに何を説明しなきゃいけないか整理しないといけないので、それとセットでやろうかなというのが今、現状の考えでございます。
0:10:33	はい。
0:10:35	あとは、次のページですね説明の2-2の関係、これ今日、一応今現状考えている。
0:10:43	名前を限定3のところにつけさせていただきましたけどこれを共通2の本文であったり、参考資料のセットの中で今後整理をして考え方を示していくと。
0:10:55	いう。

0:10:56	現状のアノ三郎
0:10:58	まだ確定はしてませんが考え 13-1 を別添の 3 につけさせていただき、
0:11:04	これも、
0:11:05	早めに片付けていかないと、今後、資料 4、
0:11:09	どう作っていくか、これ資料 3 の整理の仕方にも結構日きいてくるところもあるので、クドウという、
0:11:15	そこも含めて整理を進めさせていただこうと。
0:11:20	はい。すみません。補足です。
0:11:23	まだ途中なんですけど、
0:11:26	今の説明の中にも、別添の 23 とかで、ちょっとこれは個別に話をしないといけなかなと思うので、また後でお話をさせてください。
0:11:38	それをあと昔としてもちょっといろいろとあって関係性とかがわからないので、そこをまず話をしたいなと思います。それを踏まえて次の耐震、はい。
0:11:51	どうぞお話しいただければと思うんですけど、
0:11:56	ここまでイシハラさんに説明いただいた内容は、資料見ても、なるほどなと思うところは、
0:12:03	あったんで、
0:12:06	いいんですけど、
0:12:08	結局ですね、
0:12:11	1 ページ目の 2 ポツの、
0:12:14	二つ目のポツのダイヤ二つ目。
0:12:18	設計説明分類不明グループの設定と、
0:12:22	いうのを、
0:12:25	しかもこれ、次回の対応で、
0:12:27	いうこと。
0:12:29	だと。
0:12:31	ここにどうつなげていくのかっていうのがすごい大事。
0:12:34	これまでこれを明示的に言わないで、共通中に本部っていうことだけでやってきたから、いまいちタスクが不明確で、
0:12:44	ちゃんとした着手ができず、
0:12:46	今日、別添の方についてますけど、
0:12:51	いまいち議論が深まらない。

0:12:53	何となく書いて、いつも何か違うねっていう話なのか、っていう感じになってたと、ということだと思うので、
0:13:00	今回こう上げられてですね、別添 2 をつけられたというのは
0:13:07	意味があるんだろうな。
0:13:11	それが
0:13:17	通しの 4 ページ。
0:13:21	になると、
0:13:23	この右側じゃない、緑の引き出しの形でかかる。
0:13:28	他は四角で書いてある。
0:13:31	这种感觉のナカ吹き出しになってるんですよね。それが、吹き出しがついている矢印の補足になってますけど、次のページ、
0:13:41	ということになって、竜巻角それぞれ、
0:13:48	から抽出してきて、全体に展開。
0:13:53	いう形になってこのページの左上、
0:13:58	がその家族としてのまとめ、
0:14:01	ということなので、表記とするともうちょっとわかるようになってれば本文と会うのになと思うものですね。
0:14:08	一応明確にはされたと、ということだと思います。
0:14:12	で、
0:14:13	一方で、
0:14:15	そうだとすると、これ次回の会合に間に合うように、どうするの。
0:14:20	っていうのがいまわからないんですけどそのあたりちょっと見たら、
0:14:24	はい。読み、
0:14:26	はい。
0:14:28	説明させていただいたようにとりあえず、まずは別添 2 として気をつけてまして、先週も説明適切に分類。
0:14:36	言っていないかなって同じようにつけて、現状考えてる様ですと言ってこの後どうするんだっていうのは、前回お話宿題をいただいたリストにしてまして、
0:14:45	おっしゃっていたように今まで 3、共通利用営業本部に代表切りこませた採用して、それをもとに、本部全体でのヒアリングを進めてきたところもあるので、そこがよくなかったなというのはおっしゃっていたような感じもしていて、

0:14:59	来週、だんだん抜擢あれですけど、別にヒアリングを設定させていただいてその説明をちゃんとまずはやると。
0:15:08	どう考えてこうしたのかっていうところを審査会合にあと少なくとも、
0:15:14	2回ぐらいは入れないとちょっと、
0:15:16	うん、審査会合いけるなという気もしていて、
0:15:19	来週の現状だと、
0:15:23	審査会合の資料のヒアリングが4日にあれという、その前に1回やって、来週
0:15:30	再来週間にもう1回いえるか、ちょっとシバがあんまりないんですけど、無理やり、
0:15:38	設計をしないといかんなというのが思ってたところでありましてまだ書いてないのであれですけども、
0:15:44	はい。
0:15:45	そうなんです。
0:15:48	現状でも、今日その別添の中で話をしたものを踏まえて検討した結果を、
0:15:56	火曜日の審査会合資料案という形で提示をするということでは多分、
0:16:02	実務は回らないんだらう。
0:16:04	です。
0:16:05	ただ、審査会合資料だけだと、
0:16:10	その根拠ない。
0:16:11	ていうようなことがわからないので、もうそこはわずか提示いただかないと。
0:16:17	ということだと思い。
0:16:18	ます。
0:16:21	何となくは見て、
0:16:26	雰囲気は掴めます強いコメントもできると思うんですけど、
0:16:32	先ほどの、
0:16:34	通しの5ページで書いてあった作業が詰まってない段階で、
0:16:40	話を聞くことになっちゃうので、
0:16:43	その反映ってどうなるの、どの程度影響出る。
0:16:46	ていうところの見通しを持ってなきゃいけないのかなと思う。
0:16:52	そうですね。
0:16:55	実態問題でいうと、説明、

0:16:58	分類だったり武力だったり、
0:17:01	ていうところは大きく影響しないでその内数であるウエダはどれだけ説明するのっていうところに、
0:17:10	なるんだろうなどは想像してるんですけど、
0:17:14	ただ、
0:17:16	上流をちゃんと整理してない。
0:17:19	で、
0:17:21	じゃあそれでっていうふうにジャッジすることもできないと思って、
0:17:26	その点の扱いをですね。
0:17:29	整理をしておいていただいたらいい。
0:17:37	はい。いうように調べます。はい。
0:17:40	そうですね。
0:17:45	先週の審査会合の資料をお話しするときに、一つのアイテムではあるんで、その考え方なり何なり、
0:17:52	コメントでつけるなり、なんだろう。
0:17:54	うん。水曜日、ヒアリングで説明させていただくというタイミングで、スケジュール、
0:18:03	はい。よろしく申し上げます。
0:18:06	それで、当この段階でもう一つお話ししたいのが、もう同じく通しの5ページ或いは4ページ。
0:18:14	なんですけど、
0:18:15	竜巻溢水が、
0:18:20	この資料でもそうですし、後のスケジュール表でもう竜巻水それぞれが並行して進むと。
0:18:27	いう形になってて、
0:18:29	これまではどちらか先行してそれを倣っていきながらということだったんですけど、
0:18:36	アノへ、
0:18:37	コミュニケーションをとってやっていけば別に並行でもう、
0:18:41	その場で、
0:18:43	話をして、
0:18:44	両方ともあわせて、
0:18:46	ということで、できるとは思うんですが、大丈夫ですか。
0:18:51	実情を聞いときたいんですけど。

0:18:54	どうですか。
0:18:55	すいません、日本原燃、石黒です。
0:18:59	ずっと先行させるか並行させるかということだと思んですけども、
0:19:04	当先行させると。
0:19:06	そのあと慌ててついていくってことをしているので、結局作業がこう団地国交みたいな感じになってしまうので、
0:19:14	もうタイミング合わせてしまった方が、
0:19:16	どんどんとこうできるっていう、
0:19:19	平仄を合わせながらできるっていうことでそっちの方が、
0:19:22	やりやすいかもしれないなどちょっと思っております、
0:19:26	今回初めて溢水と竜巻、同じタイミングで、
0:19:30	ヒアリングを設定させていただいたんですけども、
0:19:33	もうそれでちょっとやりにくく掛ければまたちょっとあるかもしれませんが、一旦そういう動きをさせていただいているという、そういう理解です。はい。評議員の多賀でございます私の方は竜巻とあわせて、文言まで統一させて、一緒にやらせていただいて、
0:19:50	平仄をできるだけ取ろうというふうに、特に水側と繋ぎ特有の何か話がありますので、同時並行でやれるものはやっていきたいなというふうに考えております。
0:20:04	はい。補足です。それぞれ特徴があって、どちらの方がメインで課題なのかって言うことも、
0:20:13	あるし、そうは言いつつも、違う面で考えなきゃいけないことっていうのも反対側にあったり、
0:20:19	ということなので、連携とっていただいたらいいと。
0:20:24	D、今文言も合わせてという。
0:20:28	ことでお話あったんですけど、
0:20:32	対応方針を、
0:20:34	表題が違ってますよね。
0:20:38	これは何ですか。
0:20:44	竜巻は何で変えたの。
0:20:46	すいません。日本の中でございます。
0:20:48	ちょっとこれ共通準備っていうふうにさせていただいて、
0:20:52	前は全部それ全然共通中に落として竜巻、

0:21:00	による損傷の防止に係るって言ったの防止に係る消して、溢水わあ、前の通りにモンマにしてて、
0:21:10	おまけに逃げられたみたいな感じ。
0:21:15	これはな。どういう趣旨であってどうするつもりで全体。
0:21:19	私自身はどこでもいいですよ。
0:21:23	ちょっと、竜巻がふらついてしまった
0:21:26	損傷の防止に関わるという
0:21:28	戻すのリーダー。
0:21:31	わかります
0:21:35	前のヒアリングをされる前のヒアリングで話しちゃうわ。特に竜巻については、グループとして竜巻だけじゃないんで、
0:21:46	説明グループ全体のホース作業方針ということで言えば、ちょっと
0:21:52	範囲が狭いかねっていう話を、
0:21:54	していて、溢水の方は、そういうのがないので、これでできると。
0:22:00	いうことだと思うんですね。なのでその点で竜巻の方の対応方針が、表題が変わってくうのは理解できたんですけど、
0:22:08	修正の方法が違って、竜巻が残っちゃったっていう。
0:22:12	が、説明グループでっていうことは違って、なので、修正の趣旨はっていうお聞きしたんですね。
0:22:23	で、
0:22:25	どうしますっていうところで言うと、
0:22:29	もう一つはMOXの方を、
0:22:32	また
0:22:34	共通の全体の方に入れ込んだとかいなくなったのか、今日出てないだけなのか、何だっけ、出てないんだっけ。
0:22:44	そうです。そうすると、一応説明グループの枠タスクをまとめ、それに、
0:22:52	対応した形で、対応方針整理をするってことですか。はい。人間インダでございます。先週お話をさせていただいて私も、
0:23:02	最初範囲というとまだ資料が全部ない以上、説明グループ1っていう範囲2 竜巻をしたものを進めるっていう方法もありますよね。会話させていただいたんですけど、して、その時も
0:23:16	広げたことによって発生しつつ、RASSCを、
0:23:19	誰がいるわけじゃないんですけど、

0:23:23	うんうん、渡せるか、どこで引き取るかっていうその全体のマネジメントをどうバックやろうかなって悩んで、現状はまだ竜巻の範囲設定をしております。それでしゃべった。
0:23:37	内部発生した無駄それ以外の外傷の火山だ何だかんだも含めて、共通に本体側で作業を1回引き取って全部やりますよって言ったのが、
0:23:47	今共通の本体があるそのタスクをやろうと思って、まだ変えなかった。
0:23:53	というのが現状、本当は説明グループ1にした方がわかりやすいですよ。はい、古作です。少なくともMOXがグループ1を分けてる以上、それが全体に入るっていうのは、
0:24:06	タスクとしておかしいですよ。難しい。おかしいと思う。あるにしても、竜巻それ以外っていう形で、はい。
0:24:15	起こすんじゃないかなと思いますけど。
0:24:18	そこわあ、
0:24:21	ご自由にやっていただければと思うんですけど、
0:24:25	このタスクで今後の進め方でまとめているものの枠組み、
0:24:30	大井、
0:24:31	何人、シャッフリングされちゃうと、何のために整理してんのっていうことになるので、
0:24:37	速攻揺らがないようにしていただきたいと思いますんで、まずそこまで話を聞くと、結果とすると竜巻の対応方針の表題はそれより動いた結果元に戻すはずが、もうちょっと戻してなかったみたいなことなんですね。
0:24:55	これ状況わかりました。
0:24:59	はい。じゃあ、それで、全体のその設計説明分類に、最初に廃棄物管理させる。
0:25:10	それでの全体と、
0:25:13	考えというのを、会合に向けて整理をして、
0:25:16	ということと、
0:25:17	竜巻溢水について連携して、
0:25:21	いうところで、
0:25:23	とりあえずチャレンジしていると。
0:25:27	繰り返しました。
0:25:31	この段階で、
0:25:33	聞いときたいことがいっぱいあります。
0:25:39	藪田イワタ。

0:25:41	ちやう。耐震
0:25:43	耐震関係、入力時の進め方のところのご説明でございます。
0:25:50	先ほどの全体のですね、検討の流れの中で、この3ポツで書いているのは、都民基本基盤モデルの設定のところまでということで1ポツに属するところまでのところを、
0:26:05	今まとめる状態だと思っておりますこれに引き続きまた入力地震動の設定というのが後に入ってその後に耐震計算が紐づいてくるわけですけれども、今書いているのは、基本的なモデルの設定のところまでということで、サポートのところは今書いてございます。
0:26:23	えーとですね、前回カラーのですね、ちょっと変更点といたしましては、両括弧1両加古医療学校さんの、この流れはこれは書いてございません。前回と同じくですね、
0:26:37	この耐震建物08をきちんと仕上げながら、前回の会合でお示しました全体計画に基づくデータをとっていくというのが
0:26:49	流れになってまして全体のデータがそろった時点で、地盤の実態を考慮したパラメータを設定して基本基盤まで設定するこの流れは、変わっていないというふうに思っておりますけれども、両括弧1のですね、その耐震タケノ08、
0:27:04	ご提起のところのですね今特に進んでございます。
0:27:12	データの採取といいますか、地盤の減衰関係の
0:27:18	スケジュールについて、今、追記しているところでございます。で、今ですね、耐震建物というのはちょっと今日お出しする予定のものを、月曜日の午前中にすいませんリスクさせていただきましたけれども、
0:27:31	そこでそのニシカワきニシカワ基盤の下水道のところは、盛り込む形で提出するということを、
0:27:41	予定してございます。これが、両括弧1の山根二つ目、0.一つ目のところで、10月2日資料提出6日10日日後表に書いてるところでございます。
0:27:52	次のですね、西側地盤がいつ出るのかということをお聞きしてきてございます。これはですね今、現状といたしましては、データの分析、ほぼ
0:28:04	完了といいますか進んでいるという状態でございます、これまで観測記録のですね、再現がなかなか上手くちょっと合わないものをとらえているということを申し上げておりますけれども、

0:28:20	ある程度良いデータが見えてきたかなというところでございますもう今データのまとめにかかっているとございまして、ということで、このデータをまとめた形で、10月29日に志賀地盤減衰の
0:28:33	部分の資料を提出させていただいて、希望といたしましてはその1週間後、ほぼ1週間後の10月27日日ヤノを申し込みをさせていただこうというふうに考えているところでございます。
0:28:45	次のレ点ですけれども、このですね、今回私する方それからヒライについて追加するもの含めまして、ヒアリングでのコメントいただきましたようなところは、
0:28:58	それをまた回収させていただきまして11月の10日にまたもう一度、耐震化の端の資料をご提出するというのを今ちょっと仮設定させていただいております。
0:29:09	ちょっといただいたですね、コメントのボリュームですとか重さにもよるんですけれども、一旦こういうふうに設定させていただきまして本当カーに提出するか29部屋というの、
0:29:21	仮置でオカさせていただいてるところでございます。
0:29:26	江藤。こういうような流れで、足しても08人の検討それからそのあとの検討の流れをやっていくということございまして、会合のですね、
0:29:36	予定等、会合日程のご説明の予定といたしましては前回お出しするところから変わってなくて10月の段階では、東側地盤、11月の段階で西側地盤、それから、
0:29:48	その後ですね、業務等の時代、その基本基盤までの設定に向けたそのデータを踏まえた検討を示すといったような流れで、適しようというふうに考えているところでございます。以上でございます。
0:30:03	幾つか補足です。幾つかあるんですけど、
0:30:08	藤。
0:30:14	まず全体像という関係で、
0:30:19	耐震だけじゃないんですけど、先ほどの2ポツの方でも、
0:30:26	ポツ、
0:30:27	の方でも、
0:30:29	当面のものしか今かけてませんということを説明があったように、
0:30:36	どう進めていくのかという、今後のうる。
0:30:41	順番を後ろに書いてますけど、それもどう進められるのか。
0:30:46	何も見えてる。
0:30:48	いう状況で、かつ、

0:30:54	それが新野一井の
0:30:57	共通中に、資料3においてもってということで、かつ、4、資料4になれば、もっと見えない。
0:31:05	ということで、なので見えるようにというので今日、別添3があり、
0:31:12	11月の会合で見通しを立てて、全体計画が立てられるようにしていこう。
0:31:18	いう趣旨なんだと理解してます。だからその趣旨は理解できるので、やれるならやったらいいんじゃないのっていう気はするんですね。
0:31:27	そうしていったときに、耐震はあって、
0:31:33	なるんですよ。
0:31:34	どれを見ればいいかな。
0:31:37	さっき、
0:31:38	をいただいて、別添1の1ページ目ですかね、通し3ページ。
0:31:44	はい。
0:31:44	見ながら話をすると、今お話ししたのが上の段と真ん中の段、はい。
0:31:50	をどう進めていったんですかって話。
0:31:54	ここもうまく書いていただいているなど思うのは、共通12として、代表で類型をとって説明を骨格していくよと。
0:32:05	それによって説明をし切るということ、最終的な図書にしていくという作業で、まずは00を
0:32:15	ブラッシュアップして、個別の添付書類に展開をしていくってということで申請書の範囲までいくと。
0:32:21	いうプロセスを踏むんだと。
0:32:23	ということで、そうだね。
0:32:25	思います。
0:32:27	このプロセスは、
0:32:30	耐震も同じなわけ。
0:32:32	そうですね。
0:32:34	実際に共通中に資料3の中には、グローブボックスの説明に対しても入ってるわけですよ。はい。
0:32:42	MOXなので、もう一部終わってるよってということで、着手してるっていう部分はありますけど。
0:32:49	次、
0:32:51	再処理、廃棄物管理グループ1になったときに、じゃあ、

0:32:55	今の地震地盤モデルの一つが終わってるかっていうと、終わらないんですよ。
0:33:02	けど、
0:33:03	じゃあ着手しないかというと、
0:33:06	します。
0:33:07	そうですね。はい。それを非常に組んでますよね。
0:33:11	そうすると、なんで、
0:33:13	なんでできるのって言ったら、
0:33:15	それは2-122-12-2に関係しないんですよ。極論言う。
0:33:22	新野さんには羽根野坂さんには影響するんですね。はい。結果には影響するやつは、はい。方針は変わらないはずで、
0:33:32	ところがあるからやれるんだと思う。
0:33:34	出てですね。
0:33:36	で、一方で、
0:33:38	実は2-2。
0:33:41	なり2-1に本当は入りきれてないんじゃないのかなと思うのは、
0:33:45	1ポツの評価判断基準。
0:33:49	これ明確ですか。
0:33:52	ていうのは、めくって実はなってねす。
0:33:55	ずっと言ってる機能維持ってとこなんですけど。
0:33:58	はい。通常の耐震の評価基準を巡る
0:34:02	なんですかね、当然。
0:34:04	なんですかね機能維持の部分ってすごい曖昧で、さらにSAだったらもつと曖昧で、
0:34:10	それをちゃんと議論して、
0:34:12	明確にしましたかって言うのは、まだちゃんとしないうな気がするんですよ。うん。それを1ポツという言い方でやってるのかっていうのはあるんですよ。
0:34:22	いずれにしてもそれはっきりしないと二ノイチ着手できないんですよ。うん。だからこれまでもずっと、
0:34:28	止まっているわけですね。
0:34:31	なので
0:34:33	今の竜巻溢水っていうところで、要求事項に立ち返り、やっていかなきゃいけないというのは、まさにこの部分が、

0:34:42	もうこの体系で言えば、
0:34:44	それを2-1の中でやってますけど、はい。
0:34:49	ということなので、その際に、耐震も含めて、特に関連条文ということで対象に入れてますから、
0:34:57	そこをしっかりと認識いただくということが大事なんじゃないかなと。
0:35:04	ということですけど、それって、どういう作業体制になって、
0:35:10	やってるかっていうとあれですかね、加茂さんマエダけど、次番組等、木組みで当然違うから、それぞれやってますってということなんですかね。
0:35:20	ですね、3でいうと次番組でやってる人間が、やっぱりそれは建物なりシバなりの評価の方にも、
0:35:31	関わってきますので、ですんで、この地盤、今地盤のですね入力地震動を作ろうというのでやってる部隊はですね、
0:35:41	これはまた建物なり、土木構造物の設計の時にまたサイトウユフイマセ人間としては、やはりかぶっています。うん。もちろん私は、その両方を見なきゃいけないという中にちょっとすいません地盤のことばかり言われると、インタビューはございます。
0:35:58	けれど、ちょっと今おっしゃっていただいたような対応品表カーに向けてその機能維持費の
0:36:09	性能要求だけははっきりしてるけれども舞台の要求がですね、イマイ期以降、ちゃんと整理してご提示できてないというのは聞いてございまして、ちょっとそれを、
0:36:21	すいません私今、全然さぼってる状態ではございますけども、これをやっていかねばならんということ、どこでちょっと回収するのかをこの中でちょっと提示していかないといけないなということをおっしゃっていただいたのかなというふうに思います。
0:36:34	それを決めないと、
0:36:36	数字、資料3、書けないんですね。そうです。起動用起動要求に対する許容限界とか判定基準があるから、それを目指してどういう設計にするかが決まってくるので、
0:36:48	書けないんです。それがないと、
0:36:52	古作です。なので、
0:36:55	とりあえず会合で言えば、11月はやめて、
0:37:00	そのあとのっていうことで最初に廃棄物管理の
0:37:05	フジイに入って、
0:37:06	ということなので、ターゲットそっちの方になる。

0:37:10	ので、そこまでです。ね。しっかりと
0:37:14	耐震の、特に、
0:37:19	かなと思いますけども、建物は言ってもそんなに変わらないんであれですけど、しっかりと関係条文、
0:37:28	そして、読み込んで、
0:37:30	ということ、特に機能維持というところからちゃんと1ポツから2個。
0:37:36	増えるまで整理して、
0:37:38	今アライ分、ちゃんと精度を上げるということ、
0:37:43	タスクとして明確にさせていただいて、着手していただきたい。
0:37:47	ということだと思います。
0:37:53	そのときに、
0:37:55	絶対さんにもなっちゃうかと思うんですけど。
0:38:01	現状 00 資料への範囲。
0:38:04	そして、
0:38:06	申請書への反映。
0:38:09	3 ページだと書いていただいて、
0:38:11	です。ね。
0:38:12	で、
0:38:13	現状、添付書類の体系がそれなりになってればタンタルと。
0:38:20	ここ拡充しますとかっていう話で済むんですよ。
0:38:24	なんですけど、
0:38:25	耐震計算書ですら、
0:38:28	建屋なり、
0:38:31	工程ごと、ぶつ切り。
0:38:33	の書類にしてシマいいい。
0:38:35	経産省側に書いてしまっていて方針章が薄い。
0:38:42	いう類型化ってなっていないじゃないかって言う書類になっているところを、
0:38:48	どうしていくんだ。
0:38:50	ていう、
0:38:52	問題が私はあると思う。
0:38:55	その議論をどう地下していかないと、
0:39:01	このフローにうまく乗っていかないような気がするんですね。

0:39:04	でも 00 資料別紙 4 でそれやりますって結構しんどいじゃないですか。やっぱ単品で話をした方がいいと思うんですよ。
0:39:11	そうすると資料 4 のところの議論で、
0:39:17	改定は整理をしておいて、方向固まったから後は文言でっていうので、後段になっていく。
0:39:25	いうことにしないと作業着手できないんじゃないかなと思う。
0:39:29	で、
0:39:30	それスタートしないと。
0:39:33	この矢印で引っ張っていった最終的に申請書の反映ってこれ結局補正いつできるのっていうことになるわけですよ。
0:39:42	ていうのが現状だとそのみずずも十分かけてないから、見積もりもできない。
0:39:48	いう状況なんだと。
0:39:50	思っています。
0:39:52	で、こっからこことですね。
0:39:54	毎月恒例のことですけど、
0:39:59	昨日の社長の記者懇談会では、リリースされた文章は、淡々と書かれていたのでよかったんですけど、
0:40:09	社長からは、
0:40:12	認可の審査は遅れているけど、期限は変えないと言ってしまったと。
0:40:18	いよいよ、そもそも、
0:40:20	干す
0:40:21	認可を受けたいと言ってる時期に補正が出ていいじゃないかと。
0:40:25	どころか補正に書こうとしている計算をし直すタイミングじゃないか。
0:40:30	何言ってんだっていう。
0:40:32	状況なわけですよ。
0:40:34	で、まだお尻が言えないっていうのは当然ですよ。今言ったようにそもそも作業に着手できてないんだらう。
0:40:42	だけど、見直さないっていうと、どういうこと。
0:40:47	神長さん、変えないっていつちゃう。
0:40:50	見直す時期にはまだないっていうのはそれで、見直さないと。
0:40:54	としては、
0:40:56	本当に、はい。
0:40:57	社長行動はそうになってない。

0:40:59	もう少し守れるにはそうでした。多分、私も考え、
0:41:06	実態としては、その地域ではない。うん。
0:41:14	あ、
0:41:15	Doseアノサトウノ口大事ですけども、我々審査はわかっています。はい。
0:41:27	いや、社長があれですか、記者おもんぱかって表現を濁した結果、記者を
0:41:38	自分たちの都合のいいように解釈して記事を書いているってこと。
0:41:44	両方あるということで、谷 1 ちゃんと正確に言えない部分もあれば、記者が、それをちょっともう、
0:41:51	まだ、
0:41:52	彼らの一番竣工や、どうしても竣工ですね審査のところも、竣工が遅れたらこれ、そこに結びつけたいので、そこはまだ社長は言わなかったという書き方を、
0:42:03	言えなかったっていう方のチームと、帰られていたと。
0:42:07	いうふうに分かれてる。
0:42:09	実態がある。
0:42:13	はい。はい。決してここが走って行って最後 5 についてもある。
0:42:19	いうようなつもりで、我々もありませんし、社内もそれはなんていう、納得しておりますけれども、
0:42:25	岡崎さんがおっしゃったように、今はその時点ではない。
0:42:28	正しい。
0:42:30	うん。
0:42:32	補足です。
0:42:37	本当かなあという気はしますけど。
0:42:42	なるべく
0:42:45	私も
0:42:47	プレスと話をするときには気をつけてますけど、
0:42:50	いいようにとられるのは、
0:42:53	向こうも仕事でしょうがないところあるんですけど、それをこちらが言って欲しくないような方向に取られるような表現は絶対しないと。
0:43:03	というのが基本だと思うので、気をつけていただきたいな。
0:43:07	思います。

0:43:10	行動を見る限りは、やっぱり補正出てないタイミングで何か認可を受けてるかのような表現してるぞっていうのが、
0:43:17	書かれちゃってるぞっていうふうには見えるので、
0:43:21	そういう、その点よく見てですね、こうならないようにどうしたらいいのかっていうのは、報道戦略としてよく考えていただかないといけないかな。
0:43:31	思っています。
0:43:33	それで、
0:43:35	一方時期が言えないっていうのは何かっていうと先ほど言ったように積み上げがまだできる状況になってないからですね。
0:43:44	せっかく今日の資料でもう
0:43:48	申請書への反映っていうところまでの数字を書いていただいて、
0:43:53	その作業の部隊を、そろそろろう意識をして、
0:43:58	そのためにやらなきゃいけないことっていうので先ほど言った類型としての添付を変えていかなきゃいけないのはどこか。
0:44:06	いうことを認識をし作業に着手していく。
0:44:09	いうことが大事だと思うので、
0:44:12	それはもう3年前から言ってますけど、
0:44:16	そろそろ本腰入れてくださいねということだと思います。内容としては、共通中に資料三、四で話をしてきますけど、
0:44:27	結局せ、やっぱり設工認なので、申請書に落とし込んでないですから、それが作業が一番大変なので、
0:44:36	道を作っていたら、どうせやってたら思うように進まないで、時間の積み上げってのは変わってくると思うんですけど、
0:44:46	1回プロセスつくらないとですね、その見積もり自体ができないので、そろそろが見えるようにしていただきたい。そうすれば社長にも説明ができて、
0:44:57	それを踏まえて、
0:45:00	その段階でいえることっていうのをしっかりと、
0:45:03	発言していただけるんだろうなというふうに思います。
0:45:09	と、
0:45:13	いうのは
0:45:15	最低限ですね。
0:45:17	いつっていうのはなくても、そういうプロセスぐらいは、次回なのかわかりませんが、この進め方の資料の中で、明示的にして、

0:45:28	完成までの主要なプロセスとしてこう考えている。
0:45:33	いうことは示していただきたいと。
0:45:35	思います。
0:45:36	そうすると、耐震の方も同じで、
0:45:40	地盤のその入力地震動ってところで終わりになるわけがなくてですね。
0:45:45	それを踏まえた、
0:45:48	それ、それは逆に社長も言っていて、それを踏まえた機器の耐震評価ありますよって言うわけだから、そこを明示的にした方がいいんじゃないですか。
0:45:58	ということで、
0:45:59	まず、それでプロセスを組み、それがそれぞれでどれぐらいの物量になるのか時間がかかるのかっていうのは、今後、
0:46:09	出てくる地震によって見積もっていくと。
0:46:13	というのがプロセス。
0:46:16	思ってます。
0:46:21	うん。
0:46:22	ちょっとそこはわかっていると思いつつ、表現できていないということだと思ってるんで、
0:46:28	表現できない。
0:46:30	表現すると言われてるってことではないですよ。
0:46:34	ないですよ。
0:46:36	そしたら明確にしてください。
0:46:42	ですおっしゃることお願いします。イメージのちょっと簡単な角度それは別添1をもう少しブラッシュアップしていったら、
0:46:52	国家斉唱セットコサクサカタ別添1を拡充スルーのでもいいと思いますけど、結構全体像が見えるようなので、
0:47:02	それはそれでいいんですけど、それに本文をちゃんと、はい。
0:47:07	ください。
0:47:08	はい。
0:47:09	本部っていうのは、
0:47:11	進め方費や資料の、はい。
0:47:17	はい。意味ございます。はい。
0:47:20	さっき言ったようにこの矢印書く以上、矢印が繋がる、それぞれのアウトプット内容、

0:47:26	お願いしてしまうぐらいなの。
0:47:28	グループの関係性であったりということ。
0:47:31	また付けないとこの一つ一つのボックスが終わらないのか、っていう話も含めて、それ全体を整理して、
0:47:39	示していきたいと思います。
0:47:42	はい。昨日よろしくお願ひしますそれでようやく何度か前の、
0:47:48	コメントである全体像を示されてないっていうところに対応できる。
0:47:54	します。
0:47:55	次の点が1ポツの審査会合。
0:47:59	点なんですけど、これも
0:48:03	当面ですかね。
0:48:06	ことで、
0:48:08	その後っていう部分が確かに少し進まないとどうやって刻んで
0:48:15	いかなきゃいけないとか、いうことが見えてこないの、うまく言えませんっていう、
0:48:21	ことなのは理解をしますけど、
0:48:25	ただ、
0:48:29	この先2-2のその方針をですね、11月やるといったときにはその後どういうふうに2-1-2をやっていくのかと。
0:48:39	ということ。
0:48:41	が
0:48:43	わかっ余計わからなくなるわけですよ。
0:48:46	で、どういう、
0:48:49	最短で見込む時に、どういう刻みでいけるか。
0:48:55	とか、
0:48:57	それも、
0:49:00	少なくとも11月の会合で、2-2の説明こうしたいですっていうときには、
0:49:06	それがイメージナイトウあそれできてますねっていうふうにもう反応できないじゃないですか。
0:49:11	なのでそそいったビジョンを作りながら準備を
0:49:17	10月中ですね、やってもらわないと、11月の会合っていうのも難しくなってくるのかなと。
0:49:24	議論が難しいな。11月の会合自体をやると思うんですけど、

0:49:29	だと思しますので、明確にして、
0:49:34	ダイトウ、
0:49:35	ます。
0:49:39	はい。
0:49:41	はい。
0:49:46	ページ、
0:49:48	2-1 だけ、
0:49:50	これは、
0:49:52	一体どんな厨房体で進めていってそれが臨時的なのかどうかってところも含めて考えないといけないので、
0:49:59	これが横に六つ並んだら多分明らかな、
0:50:03	なわけで、そこも含めてとか、
0:50:06	アノは今後は、
0:50:08	それぞれの設備施設の説明グループの設定からいくと、頭の方に大きいのがあって、だんだんだんだん
0:50:15	しょぼいみたいですけど、大したことがないものになっていくっていう、特徴も考えながらどう組んでいくかってのは、ちょっと整理したいと思います。はい。
0:50:24	はい。補足ですよろしく申し上げます。
0:50:29	等それで、
0:50:34	3 ポツの舞台の話。
0:50:37	審査会合ない。
0:50:41	に、結果報告会じゃない。
0:50:45	本来は、申請した段階で、設計も終わっているし、計算も終わっているし、
0:50:52	ケース計算は設計のうちから、終わっているというところを説明する会なのである意味結果報告会にはなるんですけど、
0:51:00	残念ながら、そういう状況ではない。
0:51:05	会合、
0:51:06	の位置付けに、
0:51:08	今回の審査となって、それを、
0:51:11	何で取り下げさせないと再申請させないんだっていう話がありますけど、それ一やろうがやる前が結果としてやることは変わらなくて、
0:51:20	変わらないといったところを、なるべく透明性をもってや、

0:51:26	うちの理念である止め性を確保してやるっていうことであれば、審査会合の場を使うのが一番適してるだろうと。
0:51:34	ということなので、そうであれば取り下げとは言わずに、ちょっと時系列変かもしれないっていうと、この場で話を
0:51:42	検討状況を聞くと、
0:51:44	いうのかいいんじゃないかっていう、
0:51:47	我々の認識で、会合を続けているわけですよ。
0:51:52	そうすると、結果が出てから説明しますということではなくて、状況を素直に話をさせていただくと。
0:51:59	ということだと思ってて、それで前回は方針を示して、
0:52:05	ということなんですけど、
0:52:07	今回がまたその結果の出たヒガンだけとか、
0:52:11	のよう見えちゃうのはよくないなあと思ってるんですけどそのあたりどうですか。日本原燃野本でございます。えーとですね、確かにその検討の結果、
0:52:21	下ではあるんですけども、
0:52:25	ある意味、我々がそろえることのできたデータを、もう順次ご提示してるというふうにとっちかと近いのかなというふうに私は思って。
0:52:36	おりました。で、ご提示したデータをもとに、この後、決を加えて、我々申請させていただいてご審査いただく。
0:52:47	いうステップになるんだとは思ってるんですけども、そのプロセスをですね、ある意味ちょっとご覧いただいていると、ということのかなと思っておまして、ここで、
0:53:00	規制庁さんに見て、ご審議、規制委員会さんにご審議いただくことの意味っていうのは、そのプロセスにおいて我々、データをこういうふうにご提示しましたって言ってますけど、このデータそのものに、
0:53:13	やっぱり疑義があればその場で、やはりご指摘いただくっていうことの意味合いは若干あるのかなと思いながら私ちょっと個人的には思いながらちょっとやっておりました。
0:53:23	はい。補足です。今言われたことは、そんなに私ノモトスズエじゃないと思うんですけど。
0:53:30	書いている。
0:53:31	この資料で書いてある文言がそうなんですよ。
0:53:35	だから、そうそうそうそう。

0:53:38	なので、はい。活字にしちゃうとこうなっちゃうのかもしれないけど、結果を説明しますっていう会ではなくて、全体としての進捗を説明しますと。
0:53:50	はい。いうことであって、西についても、現状はこうですと。はい。
0:53:55	いう話とかは入れていただいてただまだ取りまとまってないので結果は入ってません。
0:54:01	いう言い方なんだろうなと思うんですね、あまり物自体は違いはないと思うんですけど、表現そうしてもらわないと、
0:54:11	せっかく前回そのリセットをかけて、認識を改めました。うん。1 からやりますっていうようなところに立ってるのが、また戻っちゃったよって見えちゃうので、
0:54:22	素行は見せ方としてですね、入口を間違えないようにしていただきたい。
0:54:28	はい。日本原燃の方でございます。承知いたしました。
0:54:35	耐震班からありますか。
0:54:42	まず最初に話をしていた、3 ページぐらいのところ、
0:54:47	1 ポツとしてその評価の判断基準をまた整理しなきゃみたいなの。
0:54:54	そうなんですけど、一方で
0:54:56	ある程度共通 12 の資料 23、そして 4 番とクニマさんですかね、こっちグローブボックスのその閉じ込めの、
0:55:07	ウノをどう担保するんだみたいな話をしたと思いますけど、一方でさっきの話だと 1 ポツでちゃんと整理しますみたいな感じだったので等を進めていくかイメージありますか。
0:55:22	日本原燃野元でございます。ですね、ちょっと私ちょっと個人的なイメージでしかないんですけども、1 ポツでございますね、また新たにタスクを
0:55:36	立ち上げてそこを整備すると。
0:55:39	いうよりは今おっしゃっていただいたように、このそれぞれの設計の中でですね要求事項を整理していってるところですから、そこできちんと整理していけばアノオノず、
0:55:52	何ていうんすかね方針的なところも、浮かび上がる場所というのをちょっと整理しながらちょっと 1 海田ボトムアップ的にちょっと見ゆうてシマウチてるとこあると思うんですけども、
0:56:04	やっぱちょっとボトムアップ的にやっていくようなイメージを私は持っていました。以上でございます。

0:56:11	規制庁神です。そういうボトムアップでいいんですかっていう話をしようと思ってたんですけど気づかれてるようなんでそれだけじゃなくてっていう言葉は理解されてるような評価とったんですが、
0:56:24	ちなみに、ノモトさんも共通中にその耐震関係はもう今の段階からもう関与はしてるってことなんですか。
0:56:34	日本原燃、野本でございます。正直に申し上げます。えっとですね、関与すべき、私はミッションを請負っておりますけれども、今あまり入れていないのが実態でございます。
0:56:49	はい、規制庁カミデおそらくイシハラさん、オオウチ 2 っって感じだとは思いますが、とは言っても今ちょっと話をしただけでもう話は若干通じてる感じはしたので
0:57:01	実グローボックス今どんな話をしている機能維持って、こういうところを説明しなきゃいけないんじゃないのみたいな話は、今のうちに関与していただいた方がスムーズに進むんじゃないのかなと。
0:57:15	思いますのでその点、少しよろしく願います。はい。日本原燃の郷でございます。承知いたしました。
0:57:23	はい。成長管理です。あと、2 ページ目の 3 ポツでいうと、
0:57:28	何かこれこの間も言ったような気がするんですけど、(1)で、
0:57:34	追加調査に関連する検討以外って言ってますけど追加調査の目的なりねらいついていうのはもうここで整理していて結果が、
0:57:44	ここに入ってきますとそういうことですよ。玄野元でございます。はい。失礼いたしました。小西の通りでございます。
0:57:54	はい、規制庁カミヤせて、あと、矢羽根の二つ目の西側のところで、どんな話があるのかっていうことなんですけど単純に、
0:58:05	今中央はこんなもんです。次にヒガシがこんなもんですって出てきて、その流れで西側がただ出てくるだけなのか、
0:58:16	その西側もそろった段階で、一旦何らかの地震観測記録っていうことに対して何らかまとめて結論を出して、一つ出していくのか、そのテーブルに並べるデータを、
0:58:30	観測記録ヒガシにし、
0:58:33	中をそれぞれ出すのか、地震観測局ですって一つに一旦まとめるのか、その辺の戦略とかって何かあります。
0:58:41	日本原燃の郷でございます。ですね今おっしゃってる、前者後者かということていくと、私は前者だと思っております。西側東側、中央の。

0:58:54	データは、それぞれ並べてですね、また、そのS波検層のデータまたこれはこれで、別のですね切り口でデータ同じすることになります。
0:59:06	だからですねこの西ヒガシ協をこれまとめてどう扱うかというのを先にやるんじゃないかって、いろんなデータをですねまず全部並べてから、いや、大局的に見て、地盤全体で下水をですねどういうふうに、
0:59:20	分割するのかどうかというのも含めて設計を考えていくということだと思いますので、今ちょっとこのですね、観測記録だけで何か集約するような検討をするのはかえってちょっと
0:59:32	よろしくないのかなという感覚を私は持っておりまして、その辺はですね、この専門家の方々非常にいろんな方々に入っていて、
0:59:44	強力にご協力いただいているところなんでちょっとご相談を十分にしながら進めて参りたいと思います。以上でございます。
0:59:53	はい。規制庁古味です。まずはパラってということで、のつもりっていうことでわかりましたどっちがいいんだろうなと思うんやから聞いてみたところなので、確かに
1:00:04	ここで一つマターなんていうんですか、考察前みたいに、どうしてもこう結論付けたい結論に寄った話になって、
1:00:13	そこでまたやいやいなるような気もするので、まずは並べておくっていうのが、こないだ会合で聞いた趣旨にもかなうかなと思いました。はい。とりあえず私の方から、耐震の方は以上です。
1:00:26	次の会合D。
1:00:28	会合なりでどんな範囲で、
1:00:30	話をしたいかというのはまた別の資料で後でやる一と思いますのでとりあえず私の方からは以上です。
1:00:41	規制庁ヨコヤマです。ここまでの負荷規制庁側から確認ありますでしょうか。
1:00:49	サンパチの件でちょっと農さんに確認したいんですけども先ほど日下調査官からも話がありましたように審査会合は結果、最終結果報告だけではないということで、
1:01:00	今やってる地盤の減衰に関してもですね、これ東西中央本来は同じことをやってるわけなんで、同じステップでチェックも出てくるというふうに理解してたんですけども、
1:01:12	今回その中央だけがまず9月に報告があって、次回10月はヒガシだけですよと、さらに、11月にニシダまでという、

1:01:24	段階を追っている、なぜそうなったのか、そこら辺の理由がですね、我々としては非常に重要だと考えてます。
1:01:33	ちなみにですね、日が、
1:01:36	今回東西だけは、西ヒガシだけが出てくる。西が遅れる理由っていうのは現段階で、何か説明できることありますでしょうか。
1:01:46	日本原燃の郷でございます。中央に比べて東西が遅れたこと、それからヒガシに対してまた西が遅れていることの原因なんですけれども、ここは、
1:01:58	メーカー国ですね同じステップに基づいてやっているというのは、それは今のハバサキさんがおっしゃった通りなんですけれども、その検討のステップにおいて、
1:02:09	観測記録に対してその伝達関数をちゃんと再現できるように、こう分析していくというのがこれが一番大事なことだというふうに、最初にステップだというふうに認識しております、
1:02:22	その観測記録をきちんと再現できるような、すいません、伝達関数において観測記録をきちんと再現できるような検討において、そのトライアンドエラーをすればならなかったステップが、
1:02:33	中央オオヒガシニシノ中に多かったという状況なんだと、いうことを、ご説明さし上げないといけないかなというふうには思っております。以上でございます。
1:02:47	はい。規制庁田崎ですちょっと今の説明ですと具体的になぜ認識がなったのかという理由がわからないんですけども本来今日提出されるべく、18の資料ですね、来週になってしまうということなんですけども、その辺りしっかりと考察を含めて説明をしてもらいたい。それが審査会合での、
1:03:06	議論のネタになるということで考えてますので、準備の方お願いしたいと思います。よろしいですか。はい。現状でございます。承知いたしました。
1:03:15	昨日、細田です。ちょっと補足すると、
1:03:19	トライアンドエラーDアノ回すべきでないか、データスキャン数野瀬、
1:03:26	一定のデータを吟味するっていうことだと思いますけど、
1:03:30	違う。
1:03:31	伝達関数の設定といいますか伝達関数において、観測記録をちゃんと再現できるように、同定をかけていくということですねはい。

1:03:44	いや、観測記録を吟味かもしれないけど、プロセスを明示的にしていたくってということだと思っんですね。
1:03:54	その上で、その吟味ってない。うん。なんで吟味しなくちゃいけなくなったの。うん。結果がこうだからじゃなくて、この敷地の、
1:04:04	こっちの区画だとかいう特性があるから、吟味することになったんだってというような分析をしていただくとわかりやすいかなと。
1:04:14	はい。で、少なくとも今回ヒガシを説明されるってことは、中央とヒガシについての違いは説明がされるんだろうと思っんですね。
1:04:25	その時に、じゃあ西はっていう時に、同じような感じがありましたと。
1:04:31	今それを踏まえてやっています。結果は次回お示しますっていうふうに言われれば、2シマダ出てないけど、その中オオヒガシニシダと、
1:04:41	いうのを絶対同じプロセスの中で、現実に取り扱いながら順次やってるんだなっていうことがわかると思っんですねよ。はい。ていうのを意識して比嘉椎野説明をしっかりやっていくと。はい。
1:04:55	ということで準備いただければ、まだ
1:04:58	次回会合で話ができるんじゃないかなというふうに、
1:05:02	日本原燃の方でございます。承知いたしました。まさにここですねご説明するにあたってちょっと言い方を間違えると非常に恣意的にやってるように聞こえてしまうというのは、
1:05:13	ちょっと我々社内で議論していても、塗装とる人間がですね中に出てきた日が違うのであるということを、ちょっと誤解を解くのに、ちょっと説明してねばならんということだってやっぱり小、
1:05:24	夕方にご説明する時にやっぱこういう誤解を招きかねないような言い方をちょっとしてはいけないなということを我々ちょっと気にしてやらないといけないと、認識のところでございます。以上でございます。
1:05:39	コサクです。ハバサキのすいません。
1:05:42	はい、西畑です。長さん、ありがとうございます。まさになんでっていうところまでですね重要だと、科学的技術的な根拠として、ポイントになるというふうに考えてますので、しっかりと説明をお願いいただければと思います。
1:05:59	私からは以上です。
1:06:04	規制庁横山です。他、規制庁側から確認ある方いらっしゃいますでしょうか。
1:06:12	せっかくなので、

1:06:16	規制庁の新井です。よろしくお願いします。今回 1 ページ目で少し細かいところはわからないんですけど、1 ポツの審査会合の説明方針というところで、先ほど古作からも、
1:06:28	ほぼなんか審査会合の場は、
1:06:30	進捗報告みたいな感じになっているというところは、多分お互い理解してることだと思うんですけども。
1:06:38	例えばボールはどこで、今どのステップなんだっていうのが明確にわかるような形になってればいいのかと思っておりまして、
1:06:48	例えばゴールが申請書の
1:06:51	作成し、着手っていうところであれば、そこまでにどういうステップがあって、どこの段階に今いるんだっていうところが、ちょっと
1:07:00	ヒトミで見るとわからなかったので、ちょっとその辺をもう少し、審査会合のときに説明できるといいのかなと思っています。
1:07:11	コサクですそれで言うと、もともとは条文ごと、
1:07:16	て言ってる、この条文が今ニノイチ等が 2-2 なのか、っていうところで、それぞれ線が引けて、
1:07:26	そのフェーズがわかる、次以降いくんだねというのがわかってくるっていう。
1:07:30	そうだったんですけど。
1:07:32	条文ごとでは説明が完結しないので、関連条文まとめてやらないよといけないよねと。
1:07:40	なって、そうすると、乱立してきて、
1:07:44	先ほど言ったやつがぱっと一目の
1:07:48	1 ページでは出なくなっちゃった。
1:07:50	ですね。
1:07:53	それを考えて、なので私もどう、その進捗みたらいいのかなっていうのは、
1:08:00	考えたので、先ほどの進め方全体像っていうのもその一つなんですけど、
1:08:06	条文並べて、今どこの説明着手してます。
1:08:10	ですね。
1:08:12	次回 5 日とかっていうので書かなくても、書ければ書いた方がいいんですけど、
1:08:17	少なくともその
1:08:19	なんすかね、線表みたいな。

1:08:21	ものを1枚作ってみるっていうのはあってもいいかなあとと思います。
1:08:29	意味づけますよ。はい。
1:08:34	で、古作です。そうする等、この条文の説明は、グループ1として関係してまっすってことだと、色がつく。
1:08:44	そうですね。ただ、後続の説明グループの部分はまだ説明してませんってなると、途中経過としてこの部分だけ着手したという形になり、
1:08:55	残りこういうグループがありますよっていう、
1:08:58	ことになるわけですね、どこまで書くわけですか。
1:09:01	一通り終わると、
1:09:04	そのフェーズ終わりです。次のページは、もうそれも五月雨式に部分的には着手してることがあるかもしれませんが、
1:09:14	徐々に侵食してって、
1:09:18	すべてをくらい尽くすと。
1:09:20	いう状態に、
1:09:22	行って、そうすると申請書はっていうふうな、
1:09:27	いうことじゃないかなと。
1:09:29	少しそういった見える化も検討いただけたらと思います。
1:09:34	はい、結城ニシウラございます。
1:09:37	また、
1:09:44	下に入っている中とか、
1:09:47	11項の辺隅括弧になるというやつが多分それぞれの部分で説明しないといけないアイテム、これを全部並べるとその個数分だけ多分全体像になって、それを
1:09:56	説明グループ1で、ここまで終わりました。そのボックスが10個あれば、1個もあります。説明グループさんに言ったら2個ぐらいありましたよね。多分そのバーチャートが全部埋まったら終わりっていう。
1:10:09	それが今、この説明グループの中で一番最後の条文の説明ポイントのところに下線が引いてあるんで、それが最終ゴールワーク共通要因としては、この条文の対応が終わりましたっていう。
1:10:20	整理したんですけどそれがぱっと見、イメージとしてわかるように、
1:10:26	整理をしたいと。はい。
1:10:29	はい。補足です会合ですね、
1:10:33	大枠として、進捗どうかと、井清のととも大事だと思いますので、我々としては説明グループのこの表でいいんですけど、

1:10:44	これ、読める人なんていつも遅いので、
1:10:48	このプレスに理解してっていうのは私はもう、よく説明できるので、
1:10:53	その点で対応いただければと思います。
1:10:58	はい。
1:11:05	議長ヨコヤマです。他に規制庁側からありますでしょうか。
1:11:10	山内です。
1:11:12	いいですか。あとちょっと被水関係で、今ちょっと確認したいんですけども、
1:11:17	前回の日先週の金曜日のヒアリングでお伝えした、共通 10 ミイの前に整理する事項で今、設計評価の整理とDSAの整理っていうのと、
1:11:31	今回、項目としてはもともと
1:11:34	負担保険とかは対象の選定の件とか挙げられてたと思うんですけど、
1:11:45	真ん中の水の枠の中だと、一つ目のポツの山根の中に入って、
1:11:51	出る項目になるんですけど、ここ対応方針の方の種は前回のヒアリング前での修正所。
1:11:59	これを見ると、
1:12:01	福井。
1:12:02	展望浸水の対応方針の
1:12:05	2 ページの一番上に、
1:12:08	移動したっていうか
1:12:14	場所が変わっただけのように見えないこの辺って結局その全体共通中に全体との関係とか優先順位とかその辺りの整理ってどうなったんですかねあと進め方の資料でもちょっといまいち。
1:12:27	どう進めてか見えないんですけども。
1:12:30	コガですか。
1:12:32	はい。日本原燃の高井でございます。おっしゃっていただいている対応方針のほうの記載は、確かに市の中に入っているというところでは見えないという、
1:12:43	ことになっているところおっしゃる通りでございますで今考えているところとしましては、資料 234 の整理というところを中心にやっておりますので、どのような設計項目を書くかというところ。
1:12:56	を整理しております。その中でこちらの個別の事前に整理し、関、説明しなければいけないところについても、併せて個別説明をできればなというふうに思っております。

1:13:10	今対応方針の話になったので合わせて言いますと、今、10月2日の方ではまずは12条の方の基本設計の方針でからの設計項目の設定の整理をさせていただいて、
1:13:23	そのあと化学薬品の漏えいに関しても、溶け込みという形で、必要な設計項目を入れないといけないと思ってますので、そのタイミングぐらいで、あわせて、
1:13:34	共通12の資料2のどこどこに、もう該当する内容なのかというところを明確にして、個別説明をさせていただければなというふうに考えておりました。以上でございます。
1:13:48	県庁ヤマグチです。
1:13:53	今、今の説明、
1:13:55	妥当。
1:13:57	今2日の資料ではまずは異種類のD部分12条部分も、
1:14:06	1000、
1:14:07	軽油等説明すべき項目は竜巻キーで整理した形としてはあの形で整理したやつの井清版を出し、
1:14:18	そのあと薬品に反映するときに、
1:14:23	小向の
1:14:26	個別で上げてる項目も説明してくってということ、それ結局わあ、
1:14:33	何ですかね前回のヒアリングで、全体のタスクとの関係性整理して優先順位をつけてってということ
1:14:43	との関係だと、何か結局準備ができたタイミングでとして異種薬品と一緒に入れるために行ってくるっていうようにも、
1:14:53	燃えたんですけども、
1:14:58	実際その個別で整理する事項で、
1:15:03	対応方針が、
1:15:06	2ページのものです。
1:15:08	1234、五つ目の項目のプールの話とか、結局、SDの許可整合とか、そういったところをちゃんと説明して今回どういう設定にするのか評価にするのか説明が必要だと思うので、
1:15:23	結局は今、宇津真木踏まえてもやってるところの中で一緒に説明してその入れるタイミングが、
1:15:34	その次の薬品反映のタイミング。
1:15:37	ということで理解すればいいですか。

1:15:41	はい。日本原燃の高谷でございます。おっしゃっていただいている通りだと思っていて、今進め方の方の 5 ページ目で御示し、
1:15:52	てる通り、まず、S、ABの方の整理をした上で、デービーSAの整理というところもあわせてご説明をさせていただきます。
1:16:02	そのあとに医薬品、
1:16:04	としての反映すべき内容ということを溶け込ませた上で、それで全体の設計項目、説明グループ 2 に関する中心的な説明というのをまとめると。
1:16:16	そのタイミングで、個別説明を入れる。違いますか。うん。
1:16:22	イエスかノーかで話しすいません
1:16:26	今、
1:16:27	本体から来てる助かるじゃないですか。それと、溢水個別でやんなきゃいけないってもともと別にやるつもりが一緒にやるつもり、一緒にやるつもりでございます。すいません。
1:16:39	そうずっと急いでまずそれを含めて、
1:16:42	設計って何やんの評価って何があるっていう整理の中で、合わせてやろうとしてるんですけど、
1:16:48	薬品として取り出せなくて、
1:16:51	竜巻のところでそれを出せない。
1:16:56	そのタイミングというのはそうかそれが、申し訳ないけど日付がよくわかんなくなってる、その資料をどういうステップでいつ出そうとしてるかっていうのと、
1:17:08	今 10 月 2 日に出して 10 月 5 日にやろうとしてる内容とのリンクがよくわかんないっていうのが前提コサクです。
1:17:19	問題なのは、単純に、
1:17:22	束ねてきているので、
1:17:25	この一つの枠にいろんなタスクが入ってる。
1:17:30	ばくつと共通中に反映って書いてあったりするけど、共通 12 の範囲が資料 1 に反映するものに反映するもの 3 に反映するものと、
1:17:41	あったときに、タイミング一緒じゃないことがあるんじゃないですか。
1:17:46	ていう。
1:17:47	ことだと思うんですね。で、さらに、
1:17:50	竜巻溢水についてはその前にやることっていうのもあるし、内数、同等時期ではあるものの補足説明資料でやりたいことっていうのもあるわけで。はい。

1:18:02	そんな時に耳そろえだけじゃあヒアリングできませんかっていうと、そうではなくて、これをは順々にやっていきたいっていうものがあるんじゃないのかと。
1:18:12	いう想像が容易につくところを、何も言わずに、丸めて書いてるからわからない。
1:18:19	ですね。
1:18:22	まとめ、まとめていいですっていうんであれば
1:18:25	もうちょっとそのまとめてがわかるように、これとこれをまとめてやります。
1:18:29	見えるようにしていただければいいんですけど。
1:18:32	確かがちゃんと整理されてないんじゃないかなと思いますけど、どうですか。
1:18:38	はい。日本原燃高田でございます。
1:18:43	現時点でおっしゃる通り今、丸めてっていうところでタスクが綺麗に整理できてないと思います。状況です。
1:18:53	資料 1234 それぞれでやっぱ説明すべきことというのが混在していて、
1:18:59	個別のテーマに関して一色で説明しようと思っ思ってしまったのでこういうことになっていますので、それぞれのやっぱリー、二千をそれぞれ説明すべきことを整理して、
1:19:10	それに合わせてはい、ご説明するという事で、もう一度整理をし直したいと思います。
1:19:19	古作です。よろしく願います。それが結局、最初に申し上げた。これってどこまでのタスクの対応方針なの。
1:19:27	基本、少なくとも共通 12 が仕上がって 00 まで持っていく。
1:19:34	ということまでは少なくともこのタスクの範疇であると。
1:19:39	先ほどの話からすると思えるので、その
1:19:43	そうするとそれぞれの丸ごとに、
1:19:48	そういう段階があるはずなんですね。
1:19:51	そこは認識して対応いただければ、
1:19:56	山口さんどうぞ。
1:19:59	はい。土肥。よろしく願います。
1:20:03	うん。千種細かい話になってしまうんですけど、溢水じゃなくてちょっと共通牛乳の方で確認したいんですけど。
1:20:13	スケジュール的なところで 1 点だけで、
1:20:17	当期、今週の水曜日 2、

1:20:23	ヒアリングを踏まえた、結局その資料1からグループ1の1から3を、
1:20:31	見れるのって次はもう介護の前日通提出資料でしか見れないんですよねその間でこう本文とかのヒアリングあると思うんですけども、
1:20:41	この12日に提出予定の共通12全体って、もう一気にいい。
1:20:48	うん。追加早くとかって作業時間的にはもう厳しいって感じでしょうか。
1:20:56	はい、宮でございます。はい。
1:21:01	おっしゃっていただいて、
1:21:03	理解しながら
1:21:08	じゃ、はい。
1:21:10	正直今、清、こないだのヒアリングを受けて10月4日に
1:21:18	共通住民の作成方針と書いてますけど、
1:21:21	考えておかなきゃいけないことみたいのを水平展開しようとした、個数確保、
1:21:29	示そうかなってグローボックスで苦労したところを、見える化して、他の設備、どう反映するか。
1:21:35	ていうのを展開をしていくということも含めて、資料のブラッシュアップ。
1:21:40	幾らチェック側で頑張ったとしても作る側がまずその気になって必要なことを理解をして作業するってことにした井清としたいなというところもあってそれを考えると、
1:21:51	12Eをターゲットにするのが限界かなと思ってます。そこはちょっと対応しながらも含めて、なるべく早くということも念頭に置きながら、たいとは思います。はい。
1:22:05	はい。規制庁山口です確か来週その対応状況っていうか、そういう話とかは聞くとするのでそこでこうやります、やっていますっていうことをしっかり、
1:22:16	資料に反映していただければっていうところだと思います。それが結局、
1:22:20	が不十分。
1:22:22	新名。
1:22:23	出たりするのが結局こちらが資料見てみないとっていうところになっちゃってるんですけど、もうしっかり対応いただくことで、その状況をまず来週聞ければと思うので、
1:22:34	よろしくお願いします。私からは以上です。
1:22:39	コサクです。今の点は、実務としてはしっかりやっていただくのが、当然最優先でもあるんですけど、

1:22:48	会合で何すんと思うと、やっぱせっかくやるんだから、やるんであれば
1:22:56	その後の対応に必要な指摘事項は、携帯ってことじゃないの。
1:23:03	思うと、
1:23:05	前日に出されたものを、指摘事項をちゃんと出せますかっていうと、無理ですよ。そうすると、包括的なコメントしかできなくなるわけですよ。
1:23:15	そうした時に本当にその後のタスクとしてしっかりとできるようになりますか。
1:23:20	いうことだと思うので、
1:23:23	実務と会合での目的っていうのを、相互に勘案しながら、
1:23:31	時間を設定していく。
1:23:33	いうことじゃないかなと思いますので、
1:23:38	もうちょっとっていうことじゃないと私も思ってます。
1:23:42	はい、与儀西田でございます。はい。おっしゃってたようにまず、あの会合で何を指摘してますかってところから、
1:23:49	いろんな入会なりっていうのも、
1:23:54	はい。
1:23:56	作業が、
1:24:02	古作です。ちょっと対応方針の方にも言ったので、細かなのは、
1:24:08	やめます。時間も数結構あったので、やめちゃいますが、
1:24:14	比較的關係性をもって、設計項目ということと、DBSA、評価、設計、
1:24:26	分類設定と、
1:24:28	というようなことの項目をそろえておられたんだと思いつつ、
1:24:32	項目設定は押す。
1:24:34	できてるんですけど、タスクの關係性ってところでリンクが貼ってたらやってなかったり、
1:24:39	並びが違ったり、はい。またいろいろと、
1:24:44	もう遅いだなって思うのがあって、その目線を合わせれば、
1:24:50	しっかりと並び、さっきの進め方の方ですねこういう連携でっていうのが、具体に見えてくるんじゃないかなと思います。そうすると、先ほど竜巻水の連携の際に、
1:25:04	どっちがシュシュというかですね、論点が多いとかで、

1:25:09	と言いつつ、反対側にもこういう飛んできてっていうのが、見えやすくなるんじゃないかなと思いますので、もう一度、ブラッシュアップしていただけるということで、
1:25:23	はい。
1:25:24	はい。
1:25:30	今共通上に本体の対応方針、
1:25:34	頭にしながら、
1:25:36	して、そのタスクの関係性を持ちながら、
1:25:41	整理をしていこうということでやっています。ただおっしゃっていただいてまだ、もう一歩踏み込めてないなと思っているのは、教育大会てるのは全体の方針なので、それを受けて、個別のタスクで本来やる
1:25:54	ターゲットが何かっていうところを考えると対応方針が書かれないと、全体のスキームができるとも言えないかなというところもあってそういうところをまだ、手をつけていかなきゃいけないかなと。
1:26:04	これがまさしく、多分、スターリングチームからの指示の内容だと。
1:26:10	本体側でやることは前提としてありながらも個別の活動性何をやっていく。
1:26:15	いうところを明確にするということが、この連携をとっていく意味では必要なのかなと思います。そうやってやっていくとそれぞれの特徴が当然対応工数に出てくるので、その対応方針の特徴が認識できてて作業に反映できているっていうのが、
1:26:29	グリップに繋がるのかなと思います。そういったところを提案していけるようにしていきたい
1:26:36	はい、古作です。よろしくお願いします。それも設計説明分類説明グループの設定っていうのが、今回、溢水でも、それを意識して、項目追加されている。
1:26:46	先ほどの進め方た資料でもそうですし、そろってきたと思いますんで、
1:26:54	お願いします。
1:27:00	そうしますと別添 2、
1:27:02	うん。
1:27:04	時間が、申し訳ないですが、
1:27:06	入ろうと思うんですけど、設定に行って、
1:27:09	七、八ページと 9 ページ以降、
1:27:14	に分かれてると思うんですけど。
1:27:17	七、八ページは、分類で、9 ページから、グループっていう、

1:27:23	ことで、一応あるんですね。
1:27:26	はい。
1:27:28	ちょっとわかりづらいアリマすみません。
1:27:35	で、七、八はこれまで話を、
1:27:39	て言ったところを、次修正加えたりということで、8 ページは県共用の部分ちゃんと明確にさせていただいたと。
1:27:49	ということだと思うんですけど。
1:27:52	令和グループの方、特に今日の中に、
1:27:59	ええ。
1:28:00	最初にグループ分、
1:28:04	分類での七、八ページで、何かコメントのある人います。
1:28:12	まず7 ページ、前よりは結構、
1:28:18	サイコパスとかなんかは、
1:28:21	岡本主務がしゃべって言いたいことはわかるんですけど、ベースに置いてるのかな。はい。なんじゃないかなとこの後の資料見ると、そういうのももう少し本当はわかる。
1:28:31	で、それだから、
1:28:34	何か設定するっていうそのミヤハラの話をしてるような感じがして、はい。ちょっと考えてること、ベースが何でもプラスアルファはありますけどねみたいな、わかるようにしていただく方がいいかなと思います。
1:28:47	あと2点になってるのが、8 ページ目の建物更新。
1:28:52	今回の法面とかって、どこに整理されてどうなったんで、
1:28:57	はい、イデシダでございます。はい。
1:29:00	おっしゃっていただいていると。
1:29:03	今まだちょっと整理しきれないなと思ってるのが、
1:29:08	今屋外の機器配管に入っている部分のアクセスルート含むって書いてもやとかという、こういうことにかこつけて会議でした。
1:29:18	通り、結局は、積雪部という考え方の時には申請対象設備縦軸が大きくなって考えるので、法面って人がいないっていうのも含めて、
1:29:30	建物、そのときの議論も、別に機器に押し付けなくても、建物構築物に一応入れといて、屋外の環境を全部そこで拾いますっていうのも、ありかなという気がしながら、またそこが、
1:29:42	まだふらついてるっていうかまだ整理しきれないところだと思ってます。基本、

1:29:47	建物構築物で屋外のアクセスルートも、発生すると全般がここに入るかその辺で、法面も含めて実態環境、
1:29:58	条件として考慮しなきゃいけない部分の設計考慮が出てくると、いうことの方が整理はいいのかなと思いつつも、
1:30:04	そういう形でちょっと説明だと思ってますけど、まだ確定しきれない。
1:30:11	コサクです。多分今言われた方向にシフトした方がいいかな。
1:30:15	類型としては、構築物ですし、
1:30:23	評価としても安定性みたいな。
1:30:26	方が親和性が高いんですから、
1:30:31	カッチじゃないかなって、今書いてあるのは方針が一部に書いてある中で現れてくるからってということだと思うんですけど。
1:30:39	この方針の中のこのことこって分けられたいだけの話なので、
1:30:43	またあれすね設備リスト上でもあれ、それは共通設計方針のところからの分岐だからホンダであれば分けたいんじゃない。
1:30:54	はい。住民、
1:30:56	はい。施設共通金法施行時には、別にここでいくつかに分けて分類して説明を分けられたいだけだ。おっしゃっていただいている整理できると。
1:31:06	アノとシフトの仕方も、
1:31:08	すいません。
1:31:08	はい。
1:31:11	コサクです。もう1点私も7ページのところで、
1:31:16	藤原が言った一番下のポツではなくというかその上の二つ、
1:31:21	が、
1:31:22	わかりにくくて、
1:31:26	下二つ目のやつは、前回お聞きしましたけど、
1:31:30	それもその主たる事故を踏まえてっていうのは何じゃなくて、もうちょっとわかるようにしてください。
1:31:38	その上との違いっていうのはどういうことなんですか。
1:31:42	はい、西田でございます。はい。
1:31:46	そうですね。言ってることは変わらないと思います単純で一つの系統として繋がってる物の話を一番下から2番目で行っていて、
1:31:55	3番目のやつは、同じ設備の名前のやつが、屋内に行ったり屋外に行ったり、分散されてますって話なので、考慮しなきゃいけないことハザードに対する考慮みたいな意味では同じだと思いますんで、

1:32:08	あそこはグルーピングできると思うのでなんか合わせて整理をしていきたい。
1:32:12	はい、古作です。よろしくお願いします。
1:32:18	よければ、9 ページ以降で行こうと言いながら、
1:32:23	前回の話からすると 10 ページで表だけだとわからないから、ちゃんと考え方を述べてねということで 9 ページがあると。
1:32:31	ということだと思うので、基本 9 ページ。
1:32:35	で説明し切れるものだと。
1:32:38	思いつつ。はい。
1:32:40	どうぞ。
1:32:46	自分的には、考え方ないものが多いという感じですかね。特に、最初にちょっとまとめられたでしょ。
1:32:57	ところ立って、もともと考えてたんで、しっかりっていう思うんですけど、なぜこの順番なのか、結局はその辺は、
1:33:06	何かあります。これだけではわからないっていうところが一番大きいかなと思います。記載としてはそういう、
1:33:12	いいかなと思います。で、
1:33:14	気になってるのが、
1:33:16	今回この後のものもつけていただいているのでどういったものが、この中で、にしようとしているのかっていうのは、
1:33:23	見えてきてるところなんですけど。
1:33:25	これまでの審査会合で、
1:33:27	こちら側からお伝えしている事項、特に井清関係なんかでいうと私の場合、一つは申し込んでいるBBCの関係。
1:33:35	ていうのをして、していただいている感じでそれをちゃんと体系的に整理して説明してくださいねというものが、
1:33:42	二つ目が、相互に関係するような設備って、一体となって進めているんですよねっていうやりとりもあったかと思う。
1:33:50	これは、今回のこういうふうなグルーピングが見えて、
1:33:54	2、
1:33:55	何か例示で示していたのは、計装放管通信、はい。
1:34:00	他の市だったりとかそういう関係もあって、するのっていう意識。
1:34:04	体系的に政策ですよって話。
1:34:07	からすると、今回前は、ざっくりとした項目わけなんですけど、多分、3 番目と 6 番目なんですね。

1:34:18	この関係者、
1:34:19	ていうと、その辺程度整理されているのか。
1:34:23	その辺が見えない状況で、そのあたりどう検討されているのか、説明していただきます
1:34:28	はい。上西。
1:34:30	はい。
1:34:31	まず、
1:34:32	SAへの
1:34:34	対象の間のタテの世界の中での、国家の複数の設備の連携、総合感みたいなものを
1:34:44	グループ説明グループさんの中で、昨日説明をするときに、まとめてやりたいというのがまず前提であります。
1:34:52	とは今、6番目に、
1:34:56	交換とか、元気の話をちょっと通信の話で徳田してやってるんじゃないですかという話で、できること違うやんっていうのは理解をしますんで。
1:35:08	正直、6番目は、ちょっと通信を入れた方がやり過ぎだったなという気はしてて、通信は3番目に入れてもよかったんじゃないかなっていうのが正直あります。
1:35:19	会社があったのはもともと電気と放管の話の皮膚移送開放交渉と冷蔵の対応か、これだけを引っ張り出して、何となくどこもリンクしない個別で説明できるかなっていうところもあったんで、弾き飛ばしたかったところは、
1:35:33	そこはおっしゃる通りだと、もうちょっと考えます。
1:35:38	コサクです。皮膚はいいんですけど、
1:35:41	通信の多様化は、DSAじゃないかなと思うので、そもそもDBがこうだからSAFでっていうのは、
1:35:50	はずなので、
1:35:51	その一環に入ると思うんで、そういった点でもうそのSATとかっていうことじゃなくていいんじゃないかなと。
1:36:00	はい、西浦でございます。はい。そうすると、
1:36:04	がますますカトウさん。
1:36:10	はい、電気関係だけ残して、
1:36:16	一つの団体として、
1:36:18	話していた。

1:36:19	ちょっとそうですね。コラボしないといけないところをもうちょっと精査をして、ジョイントしながら説明しないと結局説明終わらないねってところになっちゃうので、その整理を進めます。はい。
1:36:30	はい。あれですかね、グループ名にまぜるってということもあり得るってあり得るんですけど何ですか。物量感を云々っていう話であれば、
1:36:39	なんですけど、グループ7はその施設共通みたいなことが固まっているので、意味合いが違いますっていうことであれば
1:36:49	訳はこの段階で、
1:36:51	ただ、
1:36:53	順々にというよりは並行してっていうようなことでもいいかなと。
1:37:02	コサクです。
1:37:05	ほぼ今ので尽きてるんですけど、
1:37:07	9ページ。
1:37:09	でも、その今の観点でいうと、いや、
1:37:13	やっぱり変更点をメインにということで、その中で一番その機器設計に影響している竜巻になる、外部処理、
1:37:24	の対応のグループから、
1:37:27	ということなのはまあいいんですけど、次ない。
1:37:31	ブー事象に対して、なぜ溢水なんか火災はどうなってんだみたいな。
1:37:37	考え方とか、
1:37:38	その次の重大事故については今まで幾つか、
1:37:43	含まれますけど、
1:37:46	分類としてはまぜるといいながら、機能としては分けるっていう心はあっていう、
1:37:52	ことをお話いただくというのが、
1:37:56	必要なんだろうなと。
1:37:58	思います。
1:37:59	こん時に、ちょっとここで書くのが本当に適切なのかちょっとよくわかんないんですけど、なお書きで、資料3、
1:38:08	で説明することを読んで説明することっていうところに関係してきそう
1:38:14	なものが入ってて、
1:38:16	個数わあ、システム設計とかで、或いは配置設計で、

1:38:22	というので必要な情報になるので、基本は資料 3 側で説明ができてそれをおさらいするような形で資料 4 番、
1:38:32	いうことで十分だと思うんですけど。
1:38:34	要領についてはどちらかというと資料 4 なんですよね。
1:38:38	といったときにここでグループ 3 で説明というのはどういう意味があるのかな。
1:38:45	ということなんですけど。
1:38:49	はい。イメージですまず個数容量を、すみません基本設計方針の単位で、バクツとしちゃってるところがよくないと思いますので、そこ、資料 3 で説明したいアイテムが何かと。
1:39:03	いうことと、資料 4 との関係っていうのは仕分けをちゃんとした上で、ここでのアイテムは何ですかということ、整理をしていきたいと。
1:39:12	個数でも結局はおっしゃっていたように、システム設計なり配置設計なりで決まる個数もあれば、そうでないもともと兼用するみたいなものは、
1:39:22	木野と言っても、
1:39:23	市が一番、
1:39:25	目をあまり、そこでやっても意味がない。
1:39:29	容量についても、
1:39:32	何て言えばいいんでしょう。
1:39:34	通過点としてあるものであればあまり容量っていうよりは、評価の中の条件の良い物を使えばいいんですけど、どっかで、
1:39:42	ある種、ため込むみたいなものだったり、そこで保有量を一定程度確保することが機能の達成のために必要なものだとすると、何かこう設計側で説明をしとかなきゃいけないものもあるのかなと。
1:39:54	そういう説明をするポイントを仕分けをして、ここで説明を整理しとかなきゃいけないものなんですかっていうところを、明確にできれば、あのようように、ご説明がうまくできるんじゃないかなと思います。はい。
1:40:06	はい。補足です。
1:40:08	資料三、四のどちらでどの程度っていうところの違いなんだと思うので、
1:40:18	はい。認識は合ってるかと思いますので、進めていただければ。
1:40:23	で、
1:40:24	在校については、
1:40:29	単独、
1:40:31	江藤なんだろう。
1:40:36	ふうん。

1:40:37	藤。
1:40:39	だなあ。
1:40:42	竜巻、D、
1:40:45	の評価で加わって、医師、一緒に、
1:40:50	やった方がいいものっていうのが、屋外なんだとあるかなって気もするんですけど。
1:40:57	そこら辺の整理をしないともらったらいいかと思います。
1:41:02	側溝の部分では関係しなくてSAの荷重の分で評価をする必要があるんですけど、
1:41:10	その点でその関係性を明確にしといていただければと思います。はい。20、
1:41:17	はい。
1:41:20	ちょっとここ、額的には在庫がグループ入りフクダでいただく話もあって、最近ぽっと入れましたけど、ここで言ってる在庫もあくまで水素爆発とかの時の圧力上昇、あれをターゲットに変えて、
1:41:34	だけみたいなのところもあるので、ここも在庫が関係するシリーズが要るんじゃないかってところをちゃんと見て、それぞれちゃんとはめ込んでいって、資料2の段階で関係条文、抜けがないようにということで整理をしていきたい。
1:41:49	はい、古作です。今の話が、最初に申し上げた別添3の、
1:41:56	絡み精査をしないと最終的に確定しないんじゃないの。
1:42:01	ところなんですね。
1:42:04	この関係、
1:42:05	3年前から私申し上げて、それぞれの強度評価バラバラになってるけど、関連してんじゃないのということで、添付書類上はその構成から分けなきゃいけないっていうのはあったんですよ。
1:42:18	今回のその共通12での説明としては一体でいい。
1:42:22	並べて説明すべきものだと思うので、
1:42:25	そこは整理をしておいて欲しいということで、できれば次の会合でもその議論ができるよう、
1:42:34	ということで進めていただければと思います。
1:42:37	はい、油井西原でございます。はい。おっしゃっていただいて、私も聞きしてるかっていうところは、耐震なんか耐震計算個別にやる、機能維持なんかで別にやるところ、結局は耐震計算の表を呼び込んで、

1:42:51	上と同じようにやりますみたいな類型ができる。うん。ところが強度の方はバラバラにほど計算書が出てきて、それぞれ別々にやってるかのABって実は同じことやってるみたいなのところがあるので、そういうところをこの中で体系づけて紐づけて、
1:43:04	中央にボタンタッチしてうまくコラボできるようにして類型整理ができればというのは思ってますので、そういう視点でも他の整備を進めて、
1:43:15	はい。
1:43:16	そうです。別添 2 についてここありますか。
1:43:27	別添 3。
1:43:31	大分
1:43:33	関連する話を参照させていただいたところではありますが、
1:43:40	29 ページ。
1:43:44	まずよくわからないなあ。
1:43:47	一つか二つ目のことで、以下のパターンに分類される。
1:43:51	これ、類型化のパターンじゃないですね。
1:43:54	はい。
1:43:56	検討プロセスとして、視点として置いてあるもの
1:44:00	ごとであってだと思んですけど。
1:44:03	こういったところも表現が行われてる。
1:44:06	思うところなんですネ。
1:44:08	特にこの②ガー論点としてポイントだと思んですけど、
1:44:14	うん。
1:44:15	この②だとちょっとよくわからないんですが、次の 30 ページで、
1:44:23	最初の判断フローの
1:44:26	NOにするのは、
1:44:29	精鋭りできていない、かつ十分ではないとなっていて、この判断基準って何。
1:44:38	ということなんです。
1:44:40	これがですね、先ほどの耐震でも
1:44:44	建屋ごとになっちゃってたりー
1:44:46	計算結果の方に会計計算書の方になっちゃってて方針書じゃないよってということだったりっていうのが、
1:44:53	この部分で、どっちに振るのかっていう認識ずれが一番出る場所なんですよ。

1:45:00	私はほとんどがノーのほうに行くんだろうなと思ってんですけど、これで申請されてる皆さんはイエスだと思っているはずなんです。作業者自体は、
1:45:10	はい。おっしゃっていただければ、このフローを作ってこのフローでどこに入るかって言ったときに、
1:45:17	何かやって、
1:45:18	違います。はい。
1:45:21	私はどっちかという、と、ど、ど、ど、また、ただ、できてますよね。PEEKパターンの人がやって、
1:45:27	その辺は多分このフローの書き方がよくないっていうか、明確じゃないから、この反転機が明確じゃない部分れるんだなっていうのが、
1:45:36	思っはいるんですけど、
1:45:38	最初から分けてなかったんですけど、決め打ちでっていうのもあれですけど、
1:45:43	はい。ちょっとその整理を進めますはい。補足です。
1:45:48	明らかに下に落ちるのってまさに計算方針書として形ができて、結果のフォーマットまで書いてあって、あとはもうデータ入れるだけってやつはまさに、
1:46:00	下に落ちるやつなんですよ。
1:46:02	そうじゃなくて、計算書の方に、方法の内容が書かれてるものは、一旦右に行った方がいいんですよ。
1:46:11	その上で、
1:46:14	これでしかないのか、改善の余地があるのかっていう話を、
1:46:18	していただいて、その部分を、類型としてどうかっていうのを議論するというのがこのプロセスだと思うんですね。それがなかったら、これやる意味ないんですよ。
1:46:30	なので判断基準をそういう形にしてもらったらい。
1:46:37	でそれがそのパターン3で書かれているところで方法等の体系整理ということで、
1:46:46	ここら辺まとめられるんじゃないのかって、まとめるにあたってはこういう配慮が必要なんじゃないかって枝葉としてここは個別で話しなきゃいけないよねと。
1:46:55	いうことが出てくる。
1:46:57	先に行くと、じゃあそれを添付書類はどこでどういうふうに変えていこうかと。

1:47:02	いうふうになって添付書類の整備が進んでいくということになるので、この井口を間違いない。はい。
1:47:10	これは是正するだけで多分中口課長。はい。はい。お願いします。
1:47:16	はい。油井仁科。
1:47:17	はい。
1:47:19	はい。そういう意味では、申請書計算書の作成方針なり、
1:47:26	体系的流動務できてるかっていうと、経産省そのものに、
1:47:33	計算書作成方針に書くべきものみたいのが入ってませんかとか、ちゃんとグルーピングして、フォーマットも整理されて、インプットアウトプット書くところがあるグルーピングでまとまって書かれていますかとか、そういったことを判定基準にした上で、
1:47:49	Bが下に落ちるかということ整理して行って、次につなげていく。
1:47:54	理解しました。はい。
1:47:57	はい。不足です。そうそう。それが耐震が右にいつちゃうとですね。
1:48:02	パターン2がなんだって感じになるんです。多分、なので多分これ、
1:48:06	次元が違うん。
1:48:07	ですよ。
1:48:09	なので別プロセスで話をさせていただいた方がいいかなと思うんですけど、その上でパターン2っていうので言いたかったことって何。
1:48:18	ということなんですけど。
1:48:22	これわーあれですかね、説明事項を変更点にフォーカスしたいと。
1:48:28	否認下での方法でいい部分は説明を省略したいってことですかね。
1:48:34	はい、西田でございます。どちらかという、そうですねパターン4パターンに、にこれはもうで考えるという、あとは、
1:48:44	特に今回共通寿命MOX説明グループ1やってみて、
1:48:49	木造耐震がことごとくMOXのことを書ききれてなくて、はなからちゃんと体験性もくそもないんですけどとはいえ、経産省からさかのぼって
1:49:01	ボトムアップですけど、と言いながら計算方針とかの前の基本方針だったりにこういう条件って形の中で考慮しなきゃいけないよねって、こういう視点でも整理をしている意見化して計算書作成方針に反映しないといけないよねみたいなものが、
1:49:16	出てきてるんじゃないかなと思っていてそれを真似地盤で落としたいなっていうのがもともともう一つは思って。

1:49:23	そこにく耐震計算書なんかはどちらかというと①番でずっと終わりたくはなくて②番でちゃんとしっかりキャッチアップしたいなっていう趣旨で、もともと2番を上げていくっていう、
1:49:34	うん。
1:49:36	はい、佐古です。
1:49:39	ソーレで言うと、記載の拡充っていうこ等に繋がっていく話だと思うので、
1:49:45	そういったアクションを明確にさせていただいたらいいかな。
1:49:51	それ等、
1:49:55	何か、
1:49:55	話の仕方が知ったから十分な感じで申し訳ないんですけど、
1:50:00	パターン一位なんですけど、
1:50:03	どこでもいいんですけど、30ページの図で言えば、具体の説明は添付書類で実施なんですけど、
1:50:11	最終的にはそうなんですけど、審査会合で説明をするということであったり、累計っていう関係からすると、
1:50:21	それを、
1:50:23	概略資料として作っていただくっていう必要はあるんだろうなと思いますそれが資料4という形になり、具体は添付見てくださいっていうふうに、
1:50:33	いうことだと思うし、通常の設工認であっても、添付だけでわかるもんじゃなくてそれに個別補足説明がつくわけですね。
1:50:41	なので、
1:50:43	個別補足説明2フルタ目のその概要説明資料、
1:50:49	いう形で作れば、おのずとそれが審査会合資料の本体になり、補足が別になりという感じにつなげていけるんじゃないかなと思うので、
1:51:02	JSOCも念頭に、どんな、資料4、
1:51:07	になる。
1:51:08	いうことを
1:51:10	例として作っていただけるとのこと。
1:51:14	はい、乳井委員。
1:51:16	はい。
1:51:19	でも入れて、全体制御
1:51:22	はい。コサクです。で、
1:51:27	あと、わあ、前から言っていたところですけど、

1:51:40	31 ページ 32 ページ。
1:51:43	どういう、
1:51:45	項目として資料作っていくのか、っていうのがこれが肝になって、
1:51:53	これが
1:51:55	資料 3 の説明分類とは違うはずなんですよ。
1:52:00	なので、早く着手して、説明グループとの関係性はどうなっているのか、それを踏まえてどういうふうな基準。
1:52:10	持ちつつ、説明したらいいのかと。
1:52:12	いうことを考えていただくってことだと思うので、
1:52:16	この
1:52:17	素案なりを早めに出していただくっていうことが大事かなと。
1:52:21	思います。
1:52:24	はい。由井ニシダでございます。そうですねさっきのお話のところ、
1:52:28	説明をさせていただきましたが、共同計算みたいなもの、いろんな市場 っていうやつを、提携して集めていくっていう作業をしようと思うと、それ が散らばってる設計説明分類を全部、ある程度、
1:52:41	今日統合されて説明をされるので、結局はメッシュ間が 2-1 を説明し て、2 で説明するときのメッシュ感が違う。
1:52:49	タイミングも当然二ノイチがどこまで終わったら 2 度にできるかという話 になるんで、
1:52:53	ちょっと今後の考え方を整理して、
1:52:58	そういうのもあるなと思って今回さっきの 6 ページから 2-2 を発射もある んですけど、駄目だと、同じ部分じゃ駄目だなと思ったところもあるので、はい。
1:53:08	ちょっとそこも検討を進めます。はい。
1:53:12	はい、佐藤です。お願いします。
1:53:16	その点ではですね、強度計算ワー添付書類という枠があるんで、類似 のものがいっぱい類似な形で書いてあるので、イメージつくと思うんです けど、
1:53:27	今回の資料 4 で説明として体系作って欲しいのは、設定根拠説明書
1:53:34	なんです。他の機能の説明書の中の評価については、ほぼイメージ、 そのまま持ってくれば良いということでイメージつくと思う。
1:53:44	で、通常から作っているような補足説明資料の骨格を示していただけ ばいいんだと思うんですけど。
1:53:50	設定根拠説明書を、個数 4 とかという事で、

1:53:57	言うといいようで、
1:54:01	何か発散しても
1:54:03	ちょっとそこが不安があつて、
1:54:11	外径なり肉厚なり何なりであれば、共同計算の方に持ってけば良いって いうこと。
1:54:17	思いますし、
1:54:22	係争云々の場合は、そちらの方の添付書類にもなっているしそれを一 つの類型として入れるということだろうなとかですね、
1:54:33	書いてある項目を挙げてそれをどういうふうに対処するかで整備をすれば いいだけなので、比較的リストアップして、
1:54:41	素案作ってみれば簡単だ。
1:54:43	で、早めに提示いただいている。
1:54:48	はい。
1:54:50	はい。
1:55:02	計算はよろしいですか。カミデ。
1:55:08	資料 3 は別添 3 で、資料 4 って今あれですか①から④まで四つフォー マットができたんです。
1:55:21	日本のインダでございます。このお答えを単純に言うと、ノーです。
1:55:27	パターン四つで全部分けて作るつもりはなくて、資料的にはさっきで言う と、
1:55:34	32 ページという資料 4 の①②を倍ぐらい使いながら二つでいきたいなと 思ってますけど、ただそうは言っても今、この各営業やってこの資料で 何をやるかっていう目的をちゃんとしてそこで必要な、
1:55:48	作業としてどう、どうやって整理していこうかなというのを考えた上で、資 料の構成も含めて考えますが、今思ったのは資料の①で、資料 2 とか でピックアップしている評価項目って何があるみたいな、全部作り上げ た上で、
1:56:00	その整理の仕方のパターンを分けて、資料 4-0 に同じように持ってい くものは持っていくということで考えてましたがそこも含めて考えたい。い くつかフォーマットをつくりたくもないので、
1:56:12	なるべくそれやるとハラから類型化できてないという話なので、はい。ち よっと考えます。はい。
1:56:19	はい、深見です。資料 4-01 万年前、いつだったからいいですけど共通 順位の本文と添付こんなふう書いていきますよみたいな、補足説明

	があったと思うんですけどときの、資料 4 のイメージと同じものってことですか。
1:56:34	ただそこまでブラッシュアップできてないので、現状は何がいけますかという、こないだ参考資料でつけたやつ、検討中って書いたものの、4 の①までになって書いてたやつが、もともと考えている。
1:56:45	はい。
1:56:47	はい。規制庁川満です。今もそのイメージの①②の説明をどうしているということで、多少はブラッシュアップあるとしても、
1:56:57	オザキです。それがいまいち、
1:57:01	現実的になってないんだらうなと思って、私は先ほど項目まず挙げて、それぞれ何を説明する形なのかというイメージを作っていきます。
1:57:12	いうことをお話をしました。なので、資料 401 でやろうとすることを一旦先取りで、こんなことがありますよねっていうのをピックアップするっていう事前作業。
1:57:23	をして欲しいというのが私のコメントだったのかなと思っています。で、その項目ごとに、現状添付書類はこういうふうになっているから、資料 4 としては、資料 4 の②としてはこういうふうにしていったらいいんじゃないかっていうのをイメージを作っていくと。
1:57:39	いうことと理解をして、
1:57:42	ます。
1:57:43	1 回次のバージョンで、
1:57:45	具体的にしてもらって合ってるかどうかということをお話できればと思います。
1:57:51	はい。はい、どうぞ。浅見で理解しました。
1:58:03	こっから 1 オガワから確認ありますでしょうか。
1:58:12	したらないようなですね。
1:58:14	進め方の部分については、これは以上でよろしかった。
1:58:18	はい。
1:58:19	振り返りの方は、いかがいたしましょうか。
1:58:24	定義の時間。
1:58:25	ただ、このまま、
1:58:27	来ます。
1:58:31	はい。
1:58:33	では振り返る方お願いします。

1:58:35	はい。準備ニシダでございます。はい。
1:58:39	まず、大枠の進め方の資料の立法通以降の閣議と、
1:58:48	今回別添 1 で全体像を示させていただきまして、それぞれの
1:58:54	枠組みでどういったことをゴールに考えてどういう作業があるのかということ をブレイクするのも含めて、本体は本文も中長期的な流れと、
1:59:06	というのが書かれるように整理をしていくというのが一番大きな話かな。
1:59:11	出ます。
1:59:12	はい。あとは
1:59:16	そうですね。耐震も削減が同じように、3 ポチも同じように、全体をちゃん とつかめるように本を合わせる。
1:59:26	であとはその中で、個別のIT部でいきますと 2-2 の話だけで計算があ りましたけど、イノウエの話の 11 月に取りしてますけど、いきなり 11 月 にできるわけではないので、
1:59:38	そこに向けてどういうことを整理していかなきゃいけないのかっていうの をもう少しブレイクして、具体的な検討プロセスといいますかね、それを 明らかにした上で、一つちょっと段階的にアウトプット、
1:59:49	採集して、議論させていただけるようにさせていただきます。
1:59:55	はい。
2:00:01	お話。
2:00:03	ウタの話はそうかなっていう。
2:00:07	は、ベップミイさんの話は先ほどありましたようにはまだ行われてない部 分がありますので、分類の考え方であったり説明グループの考え方であ ったり、資料整理、
2:00:20	あとはこれ自体が、次回の審査会合にやらせていただきたいと言ってま すので、現実そうなるようなスケジュールになってないということがあり、
2:00:29	これを、
2:00:31	来週の 4 日ですかね、審査会合資料のヒアリングする時に合わせてそ のベースな考え方の資料を前の日なり、その前に出して、セットで、
2:00:43	設計説明、説明グループの
2:00:47	説明をさせていただくというタイミングを設けさせていただく。
2:00:52	大きくは以上。
2:00:55	別添 3 アノ、
2:00:57	今後の進め方で最初に言った通りのステップを作って細かい検討を進 めながら、その都度、アウトプットを示して議論を進めていく。
2:01:07	はい。

2:01:08	耐震関係の個別の話アノせたところは、今石原さんから話があったところだけそこは確認させていただきまして、個別のところではいきますと、当会合での説明というのはこれは結果説明ではなくて検討プロセス、
2:01:21	の状況の報告でもあることから小西側のチェックも含めて、説明することということでこの進め方の本文のところの記載も留意することというのはいけないというふうに思います。
2:01:31	それから今下水について旧大東西出ですね時間がそれぞれかかっているというようなところについて、同じステップの中でどういうふうな理由でこの措置ができるのかと。
2:01:42	ということを理由を明確にするということでこれ私たちも 082 への反映も含めて、また介護でもちゃんと説明することを含めて、対応すべきということをお願いしているということでは中でございます。
2:01:54	江藤おつきは 2 点、依田さん。
2:02:01	規制庁横山です。振り返り含めて全体通して、ここまでの部分で、規制庁側からコメントありますでしょうか。
2:02:14	ないようなので、
2:02:17	午前の部分では、11 を回りましたので、本日のメニューとしての今後の進め方と対応方針とあと入力地震動策定に関わる方面説明内容についてということ。
2:02:29	路線の分、進め方の対応方針は説明したという感じ。
2:02:36	これは午前、
2:02:40	の続きでできればというふうには思ってたんですが、今ちょっと時間切れになって、
2:02:46	だということ聞いたんです。こちらは先ほどコメントを受けて説明する内容というのは、指示いただけてますけど、もう出してる資料そこまで書いてないんで、
2:02:56	イシカワヒガシ側の話。
2:02:58	サカイ。
2:03:02	カミデですけどまた、この辺の説明内容の話は午後管理課も含めて、若干かぶる部分もありますけどまた改めて話を聞こうと思ってます。
2:03:15	中ヨコヤマですね、ここの部分について
2:03:19	の予定ですと、2 時半から入ると 1 時半から、その管理課と面談の方は、
2:03:26	はい。面談が、
2:03:30	何。

2:03:30	一応、進め方部分それ含めて午前中から午後 2 時半くらいまでの対象。
2:03:36	やってみましたけれども、宗とか三瓶が連続してやるという予定でしたけど進め方が終わりましたので、メンバーの方をちょっと繰り上げて、1 時半から、
2:03:45	すいません面談は面談なので、もともと午前から午後にかけて、説明方と後から入力地震動の当面の説明内容ってヒアリングを組んでいたの で、
2:03:57	入力地震動の分を午後 1 時半から開始します。それが終わってからまた別途面談をするという形です。
2:04:08	一定条件、ありがとうございます。
2:04:10	ピックアップした一つの方で、
2:04:14	やはり一旦中断しますので、録音します。
0:00:02	規制庁神戸です。それでは午前に引き続き、ヒアリングを行います。午後は、
0:00:10	入力地震動の策定に係る当面の説明内容についてということです。まず出席者ですけど規制庁側から、アライキシノオザキカミデアトベて長谷川管理官が、
0:00:25	出席します。日本原燃側から出席者と、ワンペーパーですけど一応概要だけ説明いただけますか。
0:00:36	はい。日本原燃事務局仲山でございます。
0:00:40	日本原燃側の出席者紹介いたします。ケツク。
0:00:45	クドウを、
0:00:46	ノモト、
0:00:47	イシグロタカヤ
0:00:50	あと六ヶ所側から事務局再処理の事務局で参加させていただいてございます。
0:00:55	本日ご確認いただきます資料ですけども、入力地震動策定に関わる当面の説明内容についてという資料となります。
0:01:05	それでは説明の方開始させていただきます。
0:01:08	はい。日本原燃野元でございます。1 枚ものの資料ですけども概要をご説明差し上げます。
0:01:16	旭でも一部御所、ご説明していたところ、若干かぶりますけれども、今後のご審査いただく中での、

0:01:27	ご説明内容ということで議会の会合を展張に、少しくこういうふうな流れタイプでという時意図でこれは撮影したペーパーでございます。
0:01:38	で、えっとですね、この説明はですね、全体の討論といたしましては前回策定した全体計画に基づきまして、
0:01:50	粛々と技術的な検討を進めてデータ積み重ねという状態であるということをご報告するものだと思っております、その趣旨での報告をするつもりでございます。
0:02:00	午前中の議論でもありましたように、この固定費はですね、現在進めている、検討のアイテムといいますか、データを一つずつまぜたものからご報告していると。
0:02:17	いうアノ滝井嘉門でございます。こういうちょっと結果ってという言葉を使ったりもしてんですけども、何か結果検討結果を示してるというもんじゃなくて今後ですね、途轍定数を定めていくに当たりましての何を準備プロセスとしてお示しすると。
0:02:33	いう位置付けで、これは部次長、考えてございます。それからですね、またこれも午前中のお話でありましたように、今回アノを定義するのは東側地盤の
0:02:46	データであると、ということなんです。なんですけれども、アノシノー番がこの次にご提示する予定であるということ。そうすると東側西側が急に比べて、ちょっと時間を要したと。
0:02:59	みたいなどころの要因も、この中でですね、原因がその要因ですね。我々の考えとってるところの要因をご説明しようというふうに考えてございます。
0:03:10	でもカバーボーリング調査の状況アンケートを進んでおりますというところを考察するのかなというところでございます。以上でございます。
0:03:19	はい。規制庁神です。それでは規制庁側から何か確認ありますか。
0:03:26	じゃあ、来てじゃないですね。
0:03:28	資料のですね。
0:03:33	パック1っていうんですかね。
0:03:35	2番目の話2番目のポツの話で、ヒガシ時は、
0:03:39	ヒガシ8番。
0:03:41	説明内容の中で、江藤自身は監視、
0:03:45	2、
0:03:48	検討の話が言われてますけれども、下水評価困難と考えると、
0:03:53	いう予定で、これは来週提示される耐震タケノ08にも多分反映され、

0:04:02	もう結果的に東側、探傷法については、現示評価。
0:04:09	できないという、
0:04:11	結論。
0:04:13	ということで、理解者お願いしますか。はい。日本原燃野本でございます。イエスでございます。
0:04:19	はい。規制庁山崎です。これ午前中も言いましたけど、なぜそうヒガシなったところの分析、それが十分説明されるという、
0:04:29	ことで、リーダーシップをいたします。
0:04:32	日本原燃の郷でございます。はい。そのような、何ていうか検討の状況になったということについての我々の考察も合わせてご提示したいというふうに考えてございます。以上でございます。
0:04:43	はい、北畠です。この土地の中でも、上層地盤がネックだったと、というようなことが書かれてるんで、そこら辺の分析を随分データを、
0:04:53	本当にご説明いただいて我々としての、うん。
0:04:56	確認ということをさせていただくということで理解しました。
0:05:01	それとですね規制庁的ですけどもそれと、すいません、ちょっと店自身は勸奨とヒガシが、
0:05:10	無理そうだったってなったときに、中央では一応出たんですよその結果は生きてるってことですか。
0:05:18	日本原燃井野でございます。はい。その通りでございます。9を、では、その会社と入社のですね対応が比較的綺麗に出ていたといったところがこのオオバニシウラもそうなんですけども東側西側では、
0:05:33	やはりそうではない傾向になったということでその違いについてなぜであったという、即応させるためにお示ししようと思えますけども中の方は、これはデータとしては、粹だというふうに考えてございます。以上でございます。
0:05:47	はい、都築です。その中央の後にイシイはどうなるんだって、聞こえたんですけど、
0:05:56	今の段階でも西側も地震発火の情報は無理そうだな。
0:06:01	ということですか。
0:06:03	の辨野でございます。いいです。はい、藤です。それがわかってるんだったらわかるようにってか東側中央は開きました。ヒガシは駄目でした。西は、また今度楽しみって言うんではなくて、もう、
0:06:16	わかってるんだったらわかってるところまで、説明いただける。

0:06:20	表現の方でございます。はい。見通しということでご説明できると思います。ただちょっとそこはですね、データの整理もまだ今やって費用にまとめてないところですので、今度は傷耐専タテも08のところ、
0:06:33	そのデータがまた詰めない状態でございます。ですので今後の我々の見通しという形で、ご説明は、先ほども出てるとは思いますけれどもちょっとデータを基にしてこうですと。
0:06:46	言ったようなご説明は少しちょっと、それは議会と自治会ということにさせていただきたいというふうに考えてるところです。
0:06:52	以上です。
0:06:54	はい、高見です。わかりました。今お話ですと、次回10月に関して、東側についてはすべて説明し切るのではなく、
0:07:06	それ若干そういったデータが、説明が11月も、
0:07:13	後、
0:07:14	あると。
0:07:15	理解した方がよろしい。
0:07:17	本件に載ってございます。はい。西側にですね。
0:07:22	東側もまず東側、結局今回の耐震対策っていうのは、結果を出し切るつもりでございます。
0:07:33	ですので、東側については、前回は含めて今回ご説明したいというふうに思っております。はい、規制庁、わかりました。
0:07:44	フジタになっちゃってますけど、資料見てですね、とにかく東側で十分な説明されてるかどうかというのを来週示させてもらいたいと思います。はい。はい、わかりました。はい。
0:07:56	次の話なんですけど、同じポツのところにですね、また、移動観測結果から微動レベルルーは観測記録にクラブできるレベルであると。これはどういう趣旨。
0:08:09	はい。日本原燃の宇津でございます。この地震は干渉法がですね、このうまく何て言うんすか。江藤ヒガシ矢島に関しては、うまく取れなかったと。
0:08:20	いうことを考えていったときに、この微動の影響というので、この分析をですね加えて、加えることで、これが聞き取れるようになったらいいと思いつつながら検討はしたんですけども、どうやら微増の、
0:08:36	観測結果をもとに、これがですね使い物になったかということそれはであることが、やった結果わかったと言ったようなところですのでちょっとそう

	いうふうに、いろいろトライしてみたものの一つとして、こういう検討もやったけれどもピックアップしてのものであったということで、
0:08:51	大丈夫だというふうに考えてございます。はい、規制庁浜崎です。わかりましたこれ議長来週の資料を見ながらということで、干渉法において、この微動観測結果を、
0:09:03	何らかの拘束という検討で使おうとしたけれども、
0:09:08	すいません、ちょっとミラウかなあ。
0:09:11	はい。ありがとうございます。通りでございます。そう。そう。
0:09:14	その通りです。
0:09:17	いや、はい。そういうことで、そういったこともデータを見ながらですね、多分説明いただくことと、
0:09:26	はい。はい。はい。
0:09:28	来週月曜日でしょう。
0:09:31	を走りました。
0:09:34	来ていただくわけです。最後ちょっとですね、説明項目、上の方にある中で、これ、前回のヒアリングでも言ったかなと思うんですが、表層の話ですね、表層について、
0:09:46	外部専門家の意見を踏まえて浴槽の地盤の考え方を再整理するというような話があったんですが、これは、
0:09:55	次回の会合では説明はない。
0:09:59	日本でございます。江藤。ここはシナリオといいますか検討の道杉井の話ではあるとは思いますが、
0:10:10	次の会合で、会合の場でちょっとご説明すべきことと、いうことだと新しくデータが出るという話ではないので、
0:10:21	ただこういう考え方はですね、そういうところは絶対に他の所もコメントいただきますけども、そういうところは外部支援をいただきながら思いをきちんとロジック立てた整理はしていますという外部支援を
0:10:34	全部いただきますというご説明の文脈で、触れさせていただこうと思いますけれども、表彰の御説明のアノをロックデータですね、前回こうだったけど、今回こう変えましたというものは、ちょっと
0:10:51	会合でちょっと説明資料は1度、ヒアリングといいますか、対策も08でご提示して、はい。ちょっとここは議論を深めさせていただくという立ち位置があるのかなというふうに考えていたところでございます。
0:11:05	はい。ハバノケースわかりました。それは、来週提出される炉圧にはその、

0:11:11	反映されている。はい。元ノモトでございます。反映いたしました大分苦労はしてちょっと税的には、ちょっとまた見ていただくことになるとは思いますが、ご説明いたします。
0:11:23	はい。規制庁、浜田です。それも含めて、次回の会合或いはその以降の会合で、いつの段階でどう説明するかはこのヒアリングで確認したい。
0:11:36	いうことにいたしました。
0:11:38	衛藤。
0:11:39	確か、あと最後にですね、説明項目のボーリング調査の状況の話これを要は、次回の10月っていうのは東側地盤の減衰の、
0:11:50	設定に係る進捗状況というふうに理解できるんですけども、このボーリング調査の状況ってこれは東側に限らない。
0:12:00	全体の進捗状況は、現状でございますその通りでございます。
0:12:05	はい、規制庁、
0:12:07	理解しました。この資料に関しては、私の方で、
0:12:18	でしたら、はい。はい。はい。
0:12:21	ないかもしれない。
0:12:26	10、10月の説明はさ、どんな雰囲気。
0:12:31	雰囲気といたしましては今申し上げたようにターの積み上げについてのご説明になるわけですけども、東側地盤イシダ一番ともにですねちょっと給油時間が変わる形で、
0:12:45	ちょっとご提示しているところなんですけれども、ここなぜその時間をかけることになったのかといったようなところのご説明も一緒に差し上げて、
0:12:56	結果してですね、例えばこの地震の干渉なんかですと、うまく出なかったと、ということが結論ではあるんですけども、
0:13:07	そこはですねこうやってみてやはり初めてわかったということであるので我々今後ですね、下水責任を受ける下水を決める上で並べるデータを、ウイングを広げて、こういうふうに、
0:13:19	そろえることができたといった意味合いにはなるのかなというふうには思いますので、少しそういうちょっと前向きなイメージといいますか、感覚を持っていると。
0:13:32	企業復帰のイメージって何。はい。
0:13:35	駄目でしたということではなくてですね、ちゃんととるべきデータが取れましたと、いうことを申し上げるのかなというふうに思っております。

0:13:43	とるべきデータが取れたっていう、はい。
0:13:47	ことが前向きな。
0:13:49	1 からソネヤノデータは取れる。うん。
0:13:53	それが前向きにはなんだろう。
0:13:58	減免的にはそれは前向きな。
0:14:00	はい。前向きという言葉がですね、ちょっと使い方が難しいところがございます。丸井という言葉よりはやはり言わない。
0:14:11	要は、やるべきことをきっちり一つずつやっている、三田さんを、をお示しするのかなと、愚直にやっております。決して
0:14:20	何か答え誘導してるんじゃないかと、データに真摯に向き合っているといったところがアピールできればなあとは思っております。それをちょっとすいません前向きという言葉で表現させていただきました。
0:14:31	施設長の瀬川ですけど、だからそう言ったので今、決得さんの方が割とわかりやすいんだよね。
0:14:38	多分、最初の野本さんが言った、ちょっとマイナスっぽい大井っていうのが、最初に立てた計画から遅れていますと。うん。
0:14:52	現実的に最初の話とは随分、
0:14:55	遅れが生じてるよね。
0:14:57	ということだよ。それから、上手くいかもしれないと思っていた地震は菅正孝はうまくいかなかったですということだよ。
0:15:08	というのは一見マイナスに見えるんだけど、
0:15:12	それでは、
0:15:14	全体にちゃんと向き合って丁寧に考察をするという、原燃の基本的な方針に沿った中で、
0:15:25	当初のもくろみと違った部分があったんだけど、そういうことがあったんでそのデータをにしっかり向き合った結果、
0:15:37	様々なプラスアルファの検討せざるをえないってなって、遅くなりましたと。
0:15:44	ただし、ただしそういうことをした結果、正しいジャッジ位と思われる。
0:15:52	ことを、
0:15:54	しましたと。
0:15:56	ということだよっていう、そういうことですかね。
0:16:01	日本原燃でございます。はい。
0:16:04	おっしゃる通り、

0:16:06	何かデータを取ったことが、前向きであって、
0:16:11	日本原燃がこの間示した、
0:16:15	自分たちは、要は1から出直して、しっかりこちらも言ったよね。しっかりデータに向き合って、正しい技術的、
0:16:27	科学的な世界の中で、
0:16:30	丁寧な検討をし、してくださいしますと。
0:16:34	いう、その流れに、
0:16:36	ちゃんとね、
0:16:38	ケツクサノオダ愚直にそれをやりましたと、そういうことなんだよね。
0:16:47	それは、他の伝達関数を見たり、他のものも全部含めて、そのマツノの中でやってるってことですな。
0:17:00	ね。
0:17:01	だからそこを、
0:17:03	で、結果は結果で困難ですっていう、
0:17:07	結果は、その結果だからさ、大事なものは、どういうプロセスを、
0:17:13	たどってきたかの減免的にはそのプロセスの正しさについていうところが説明のポイントなんじゃないか。
0:17:23	結果のポイントでは、
0:17:25	ないんじゃないかと思います。結果なんてどうせ出てきちゃうわけよ。科学的技術的な検討から、結果はおのずと出てきちゃうから。
0:17:36	ということだよな。そうですね。はい。
0:17:39	だから、ここで、原燃が大抵間違えているうまく行かない説明の仕方が、結果を中心にしゃべるんだよね。
0:17:51	でも、こういう途中結果で、ある種、2回目マイナス的な部分もあったとすると、
0:17:58	やっぱりこのプロセスの正しさ健全、今やってることは、昔とは全く違ってしっかりしてるってところが、
0:18:08	説明のポイント。
0:18:12	だからそういうふうに、
0:18:14	説明の資料、
0:18:18	含めた中で、
0:18:20	こう作っていく。
0:18:22	ということになるのかね。

0:18:26	ありがとうございます。はい。おっしゃる通りだと思いますので、この検討において、こういうプロセスを踏んだそしてそのプロセスの過程で、そのをきちっとデータを取ると。
0:18:39	いう考え方のもとに、こういう検討を積み重ねてきたと言ったようなことをご説明した上で、結果はこれであると。これを今後きちんとそういうデータを基になった上で、やって参りたいといったようなお話は、そのパツルールも出てきた結果、
0:18:57	コンサル的な部分は、パーツとしてはあるかもしれないけど、まだ総合的な、はい。評価までは至らないわけだからですねっていう。うんそういうことなんだけどね。
0:19:08	そうするとね、
0:19:10	ここに書いてある流れの中で、今回のこの東側地盤の減衰の検討データっていうのは、何。
0:19:22	音で大きく、これは何で、地震伝達関数から、同定していったやり方っていうものと、
0:19:32	地震は干渉法という、この二つの結果がこの1ポツなのかね。説明。
0:19:39	そこはどうなる。その他に何かあるんだっけ。
0:19:42	大江ノモトでございます。はい。新しいデータとしてはそういうことです。今日の通り、
0:19:50	はい。
0:19:50	なので、
0:19:53	そっからこうやらないといけないよね。
0:19:56	その二つなんですよ。で、
0:19:58	まず伝達関数の話については、これはだから、中央でも同じやり方を、プロセスをたどってきて、こういうことをして、それはどうだったのか。
0:20:10	ていうことだよ。これどうだった。
0:20:14	衛藤。
0:20:15	数字的に取りを数値っていうね。
0:20:19	そういう意味では、今回のヒラノデータがどうだったのかということで、ちょっとまた資料はお出しするんですけども、伝達関数の合いという点は前回前したものができたので今回スズキまで。
0:20:32	お出しすることになっているというところなんですけれども中央よりは若干低めの値ではあります出てたりしています。
0:20:42	はい。
0:20:42	木藤ハセガワですけど、結果で、これはね。だから、またね。衛藤。

0:20:49	今のね、低いとか高いとか、伝達関数はさそういう見方なのかなんだよね。うん。これこないだもう、なんかそんな。
0:20:59	減免のデータの見方っていうのは、
0:21:03	今ね、高いとか低いとか、うん。
0:21:07	ていう、この伝達関数をどうとらえてるかね。
0:21:13	でも伝達関数はもう素直に、きちんと合わせに観測記録を採用させるということにも特化するっていうことでもあります。
0:21:23	それは、
0:21:25	なんていうのはその決定いろんなね、ね地盤のメッシュサイズだとか、そういうものをこうね、
0:21:33	中、チューニングという、業界的にはね、そんな話をするんるんだらうけど、
0:21:40	一定のレベル感っていうかね、いわゆる一般的な見方として、割と再現ができてるとか、
0:21:51	ね、なかなか再建が、うん。
0:21:55	できないと。うん。
0:21:57	いう世界まずはさ、多分、シミュレーション解析っていうのは、再現性問題ではないかと思うんですね。はい。
0:22:06	だからタカヤとか低いとかっていうことでは決してなくなって、再現性として、ある程度、
0:22:15	同定できている。
0:22:18	再現性があるのか。
0:22:22	シュミレートできているのか。
0:22:25	どうかというそういうところなんじゃないかなあと。
0:22:29	思うんですけど。はい。
0:22:31	はい。
0:22:32	だからそれぞれも高いとか低いとかっていう言葉を使ってしまうと、
0:22:38	その技術的に見たときの話としてどうなのと、はい。
0:22:45	気はするんですけど、はい。
0:22:47	多分、ちょっと注意深く言葉を選択をしないといけないのではないかなと。はい。
0:22:54	気がするんですよ。言いたいことはわかるんですけどね。いえ、実現でございました。すいません。
0:23:00	根井タカキ、最後高いとか低いとかっていう問題は、設計に用いるときに、

0:23:09	どういうふうに考察を加えて工学的な判断をくだしていくのかっていう、そういうことだとすると、まず地震と、これ全部何%って、全部が再現性があるのかどうかよくわからないし、データも見てないんでね。
0:23:26	あれなんだけれども、原燃としては今どうなのか。
0:23:30	そういう意味で、
0:23:33	再現性がちゃんと取れたのかという。大井エミタテ時には、はい、どうぞ。
0:23:39	そういう意味では、再現性はかなり良いものができたんだというふうに思ってます。はい。ということで。はい。はい。その再現性について。はい。多分結果はね、再現性が高い。はい。っていうことで、
0:23:53	それを
0:23:55	何でうまくできた。
0:23:57	はい。
0:23:59	なぜうまく再現できたんであろうと。はい。はい。っていうところが、
0:24:05	一つのね、ある種、技術的なところろうだよ。はい。
0:24:11	たまたまですか。はい。
0:24:13	ね、一定のこれまでの持ち行っているデータを、
0:24:18	適切に反映した結果、
0:24:21	やっぱりそれなりに、
0:24:25	もう、技術的にうまくできてるんだっていう世界で、たまたま随分違うんだよね。
0:24:31	たまたまっていうことは決してないので、その技術的な考察の部分を、なぜこれだけうまくいったんであろうかを説明できそうですか。
0:24:42	センミョウでございます。はい。我々の中での考察は加えさしていただくと申しますし、ある一定の蓋然性といいますかを持った中で、こういう再現がうまくいったモデルができたんであると。
0:24:57	いうことはご説明できるんじゃないかと思うんです。それはだからさ、中央地盤と東側はどういう関係にあるのかね。うん。そうですね。はい。
0:25:13	あそこにやっぱり技術的にうまく、当然こうなってるし、それ。
0:25:19	今回だからね中央は比較的うまくいったんだっけ。
0:25:24	音でヒガシもうまくいった。はい。
0:25:27	お互いにたまたまではない。はい。
0:25:30	ていうことだよ。はい。
0:25:33	江藤さん自身か干渉法という一つのね、何かジャッジをするための要素が使えないわけだからさ、やっぱりそこに意味合いが、はい。

0:25:46	もたせてこないとき。はい。
0:25:49	根井。
0:25:50	ていうことがあるじゃん。はい。
0:25:52	でも似たようなさ、地盤ね、構成だからさね。
0:25:57	うまくパラメーターのデータセットやあとは、
0:26:02	チューニング的な問題っていうのはあるけれども、それでも最終的なモデルみたいな時に影響があるからさ。
0:26:11	はい。
0:26:13	いわゆるシミュレーションという世界の中ではうまく再現できたわけだからね。
0:26:22	はい。何かそこをうまく説明できるといいね。はい。で、
0:26:27	いうのが一つだよ。結果としては、だから、豊かな減衰なり、怖さ減衰だけじゃないんだよね。多分ね。
0:26:39	だから、伝達関数の話をすると実は減衰だけじゃなくて、その他の合成とか、
0:26:47	そういうものも含めて、
0:26:50	あるね。うん。再現性がうまくとれたものの、データセット全体はそんなにおかしくねっていうことなんだよね。
0:27:01	実はね。うん。そこ、減衰だけの話にしてしまうのかっていう。
0:27:10	ことなんですよ。はい。はい。
0:27:14	ありがとうございます。少し難しいところでこの地震、観測記録っていうのはご存知の通り、サエグサてしか取れてない。
0:27:24	というところ、ちょっと、うん。今午前の速度構造なんかを含めたところの分析データっていうのは、
0:27:34	これはもう 12 エリアでご存知の通り設定しようとしてるんだけど、それはエリアの中で、それぞれの数があるのでそれぞれできていると。
0:27:43	相当
0:27:45	あれですね観測記録で、すでに設定しているというのは、それはちょっと難しいのか、いや、はい。
0:27:58	出てきたものに、今あるものがですね矛盾しないということ、やっぱりちょっと見ていくっていうのはそれはありなのかなというふうには思っています。もちろんね。
0:28:09	この話はさ、まだローカルのエリアだしないわけですよ。うん。
0:28:13	なんだけど、これ多分ローカルのエリアではさね。
0:28:19	翌朝、

0:28:21	その地震は、地震計つけたところのボーリングデータ当然あってそういうのを使って、速度構造そのデータを使ってね、一定の再現性がえられます。
0:28:32	郵送でそう言ったんだよね。
0:28:35	なんででしょう。うん。そうですはい。
0:28:37	根井だからね。そういうふうにはちゃんとやっていけばできるってことはそこですて、一定程度の証明はされるわけですね。ただしよそで全部ねそれだけ差地震計いっぱいについてるわけじゃないけれども、
0:28:52	ね。だから、その、そういうふうになれば、この地盤っていうのは、
0:28:57	そこが極端に変わってなければ、同じような考えのことをね、
0:29:04	シミュレーションで再現性の確認はできないんだけど、そんなにおかしはなくなるんじゃないかというところの一つの、
0:29:14	ね、何ていうかな。
0:29:16	ここ根拠どれだけ強いかわかるとしても、そういうふうには使えてくるわけでしょ。ていうか使わざるをえないよね。ないんだからね。
0:29:29	刀禰。はい。そもそも原燃は寝床とっても金太郎飴のようにね、平均的なもので大丈夫だって最初に言ってあげたからさ。
0:29:40	そうでしたね。はい。武高根はい。
0:29:43	はい。サポートそれは変わらないっていうのは、
0:29:47	ね、この結果をずっとやっていくとさね。で、
0:29:52	この話だからさ、あるタバタってどこまでの範囲が見れるんだろう。どこがやっぱり局所的におかしいのか、全体的にばらついてるのかっていうのはまだわからないんだよね。
0:30:06	結局そういう話にもなるわけですよ。
0:30:11	もうなんかねいろんなこと忘れちゃってるかもしれないんだけどさ、ね、最後にそいつらが全部集合してね。はい。ジャッジするからさ。
0:30:20	今そういう話ね。ただそこで減衰だけっていうと、何かもったいないよね。
0:30:30	減衰を合わせて行ったわけじゃないでしょ。
0:30:33	合わせたわけではない。はい。
0:30:36	再現できるシミュレーション下水だけだったらさ、リピークとかサカタチイワサね、ちょっと変わっちゃうからね。
0:30:43	なので、ちょっともったいないので、はい。
0:30:48	ちょっと意味合いわかった。

0:30:53	一方で、もう1個の地震干渉法ってやつは、これはもう減衰の部分だけ、右に行って、
0:31:01	ここはさ実はさ、波と波の問題だから途中にさ、ね、あるね、バイスがあるんだけど、そこはなんかさ、どうでもいいのこれね。
0:31:10	因果関係あんまりね一定のブラックボックスのね、あれはあるんだけど、
0:31:16	そこは見に行っていないのよ。だから構成とかそんなものはどうでもいいのか。うん。そうですね。だから性質が全く異なる手法なわけだよ。だからもうそっちはもう減衰だけあるんだよ。
0:31:29	ただそれは何か一緒にしちゃうと、入ってる。
0:31:33	ないんじゃないかっていう気は。
0:31:36	しますと。はい。
0:31:38	で、伝達関数からじゃ、次の地震干渉法に、
0:31:42	行きましょう。東側はうまくいきました。
0:31:45	ということだよ。中国のヒグチちゃ中央はね、ね。で、
0:31:51	東側っていうのは、
0:31:55	うまくいきませんでしたけど、結論なんですけど、
0:31:59	同じように、
0:32:01	基本的な支援対象というものでやってみたけど、あまり結果が思わしくなかったっていうところから始まるわけだよ。
0:32:11	で、そこについて、ナカセ、はい。
0:32:15	中央は、
0:32:17	うまく
0:32:19	同定なり、
0:32:22	その方法論で一定の信頼の中で、
0:32:27	できたか。はい。
0:32:29	はい。と、あと東側はうまくいかなかったとかっていうことを、しっかり見ましたと。はい。そうすると、まず何を見たかっていうと、まず最初にノイズとか何かっていうねってことだ。
0:32:43	たわけだよ。だから、まず、
0:32:46	この地震計が正しいデータを表しているのかどうかと。
0:32:52	ということから始めましたんじゃないの。
0:32:58	はい。
0:33:01	記録が、

0:33:03	きちんと
0:33:05	地震はおヒライでいるのかどうかという。ハセガワですけど、だから、要するに、
0:33:13	センサーが取り付けとか、それから電氣的なものはそのシステムのなエラーっていうものが、
0:33:23	あった場合にその観測記録は、正しい観測記録でないわけですよ。
0:33:30	だから、まず、そういうところから見に行きましたっていう。はい。
0:33:35	ことなんじゃないかなと思ってる。
0:33:37	はい。
0:33:38	それは僕もそれを言ったんだよね。
0:33:42	基本だよ。計測の基本ですよ。
0:33:46	ね。だからそそういう意味で、計測の基本に戻りましたなんだよ。だから正しいことやったわけよ。はい。ね。
0:33:53	その中でね、ここでさっきちょっと言ったのがね、常時里道みたいなものがあるんだけど、まずさ、
0:34:02	今回の場合、その説明をするには、時刻歴の八景をきちっと出すべきだよな。
0:34:10	時刻歴のハタケ見さ。
0:34:14	英語、ノモト自身、すみません、江藤尾藤の方でタジリエミドイじゃなくて、はい。地震観測記録を、の時刻歴はつきり話をしてんだけど。はい。三田。
0:34:26	意味合いはわかってないですよ。そうだよ。だから見たのは見たんだよ。はい。
0:34:33	ね。はい。
0:34:34	だから、その辺の建物を見たとか何だか見たっていうだけで、
0:34:40	分はない。
0:34:41	そうですね。はい。
0:34:42	ないんだよ。だからそっから風紀って終わったわけだよ。あれはないですよ。そう。だからそこを原燃はどうしたか。あれすごい重要なんだよ。
0:34:53	ね。あれ見る限り、
0:34:55	ねえ。
0:34:56	おかしくないんでそんなに。うん。
0:35:02	そんなおかしくなかった。

0:35:05	なんだけど、中央の増幅特性に比べて、やっぱり西ヒガシっていうのは、
0:35:12	それなりのちょっと増幅してるんだけどなミイ全体の形とかは、極端におかしいわけじゃないから、うん。
0:35:22	それほどおかしくないんじゃないか。
0:35:25	ていうのが、
0:35:30	見る人が見れば、
0:35:32	こうね、何となくわかるわけです。でもそこがね、皆さん、どういうね、オールジャパンでやったときにね、そういう人たちがたくさんいるわけですよ。
0:35:44	まずね、そういう中で、それをちゃんとこう見るためには、
0:35:50	常時微動観測というものが、
0:35:53	ね、
0:35:55	見て、それをね、それをちゃんとそのデータ、
0:35:59	常時尾藤君的にはそんなにおかしくなって、ちゃんと捨うところは捨うてだから、その観測というのは、そんなにおかしくないっていうことがわかる。
0:36:11	ね。それを駄目だけだからこれがまたなんていうのは、
0:36:16	何ていうかな、チェック一つしかないんで。はい。はい。
0:36:19	だからね、あえて説明するに、
0:36:22	値するかって言ったらね、言葉ですっ飛ばしたよね。いいぐらい、要するに、
0:36:28	システムのね。うん地域の地域から何から、計測の基本に戻ってやりました。同時移動で、
0:36:36	そういう前提的な所特性とか様々な観点から見たときに、
0:36:41	さほどデータの的にはおかしくないと、だからこれは正しいデータとして見るべき。
0:36:47	ナツメっていう
0:36:51	んところ、いわゆるだから、そこに時間かかったんじゃないと。
0:36:56	そうです。
0:36:57	そうするとどうもね、取り付けの、
0:37:01	地盤のモデルがの地盤のモデルである。
0:37:05	地盤のところは次山につけば、オノと埋戻度にね、セットした部分で、
0:37:13	ここは違うぞと。うん。

0:37:15	そうなったときに、どうなんだって、全体的な方向性と違うインピーダンス比の違いが相当ここは極端にあるから、
0:37:26	言うて、それが中央と西ヒガシではそういう場所が違うとか、そういう中でそういうのを勘案していくと、どうも多分この地震はっていうのが、
0:37:39	ね、ちゃんと実行したから、言った時にその背斜がめっきり戻ってきてるかということ、そうじゃないんじゃないかなっていうそういうことなんでしょ。
0:37:53	はい。
0:37:53	根井。はい。
0:37:55	そこを、
0:37:57	だからね、そういうことからね。
0:38:01	何て言うのかな、あるところ自身は、
0:38:04	うん。うん。そう考えるわけだよな。
0:38:08	その相関が途中で変が、
0:38:11	人が入って、
0:38:12	だから、
0:38:14	この間の専門家的には、何て言うのかな。
0:38:19	なったんで、
0:38:21	滞留しちゃう、何波が溜まっちゃうっていう言い方ただけど、全部配車っていう言い方を聞きましたですね。はい。はい。
0:38:33	だから綺麗にはね返ってこないんで、途中でこうね。
0:38:38	なってその一部が、
0:38:40	だけがこうきてるっていうのかな。
0:38:42	多分そういうことなんで、だからね、
0:38:47	この方法は、
0:38:49	うまくいかなくて、当然だし、そんなものが出てきたものは、信用してはならんと。
0:38:56	いう、そういう結果なんじゃないかな。
0:39:01	だからそこを説明しないといけないんだな。
0:39:04	そうすると元がね、最初に戻って、みずからね、ルジャパンの専門家を含めて、正しいデータをしっかり見て、
0:39:16	いるんだというその説明が、そこ、そういうことで成立するんじゃないかなと。
0:39:22	いう気がしています。
0:39:29	なので必要な、

0:39:31	ね、
0:39:34	データっていうのは、もともとの地震計の記録であつたりそういうものが、
0:39:39	ちゃんと提出し、それから、
0:39:43	インピーダンスの形で出すのか何かあれだけど、そういう、
0:39:48	表層のところと、ウチヤマの部分で違ふとか。
0:39:54	なんかそうということ地震計がこうだとかっていうそういうところをしっかりと説明することが、
0:40:01	科学的なジャッジが正しく行われたかという根拠なんじゃないかなっていう、そういうふうに思うんだよね。
0:40:11	ただ原燃っていつもさ、そういう説明がさ、うまくなくて結果だけ説明するのね。
0:40:18	だからそういう話をした瞬間に、結果はもう自明なわけですよ。
0:40:24	もういらぬんだよね。だから使えないのねって。うん。
0:40:29	それはそれで正しいよねっていう。
0:40:33	こうね。
0:40:34	そこがさ技術的な。
0:40:37	論点っていうかさ議論の、
0:40:40	部分なんじゃない。はい。
0:40:45	だから、結果がさ議論じゃないんだよね。ちょっとですね。
0:40:52	持続に、今回、力を入れるべきで、そういうことをやったから、
0:41:00	カネダっていうかね。思ったよりうまくいなくてそのところに時間食っちゃったんで、今回これだけですけど、自分たちは正しいことをしたから、しょうがないよねっていう
0:41:11	そんな説明も言われるかもしれないけどね、そんな他人がどう思う方からさ。
0:41:17	我々は正しい出したと思うよ。
0:41:23	も携わつたらしいじゃないんだけどさ。
0:41:26	いや一部の人には頑張ってなんか、もう無理やりでも何か数字出したみたいな。
0:41:34	じゃいいよね。大丈夫。
0:41:37	だから、はい。
0:41:40	ポイントはそこだろうね。はい。
0:41:44	最後に、カミデがそのニシノ話っていう

0:41:49	だから、この話は西側も同じようなことにはなってるんで、まだね、しっかりちゃんとそここのところ、吟味をしますけど、ぐらいかもしれないけどね、何か出てこないんだったら、はい。
0:42:04	そういう憂国ぐらいの話を持ってました。
0:42:12	はい、日本ヤノ程度ですね、いただいたプロセス我々やってるプロセスをきっちり
0:42:18	説明しないと結果だけではなくて、我々が正しいプロセスに入れるというのが、まさにその審査会合での、
0:42:26	サポートだと。
0:42:28	結果を示す、状況説明をする場ではなく、やってるプロセスを説明しました。ちょっと、我々のペーパーがそういうふうになってましたので、ネタは十分あるベターは十分ありますので、
0:42:42	そのネタをちゃんと整理したいと思います。違ったら違ってもいいけど、はい。
0:42:47	メーター事項ありますのでちょっと整理を、
0:42:50	この話で整理をさせて、ご説明できるよう準備したいと思います。
0:42:54	はい、ありがとうございます。
0:42:56	私ども大体話はわかった。
0:42:59	これさ、
0:43:00	一緒なんだよね。
0:43:06	だから、何か、
0:43:08	うまく説明が、
0:43:11	うまくできないっていうのが実はそういうところにあるんだよね。
0:43:17	で、結局さ、今のこの我々の規制の仕方っていうのは、
0:43:22	結果っていうのはさ、皆さんマツノ結果持ってこないよね。
0:43:29	なので、結局そのプロセスなり、まずね、条件が、
0:43:34	多分ね、しっかりしているのかとかやる計画的なサポートがちゃんとしっかりしているのかって、それでプロセスがしっかりしたプロセスでそのプロセスの中で、
0:43:47	正しい値と思われるジャッジをどうやってきたかだよね。
0:43:54	そうすると必然的に結果のは、そういうことをやって出てきた結果は信用できるか。
0:44:03	ね、また信用できないか。
0:44:06	ていう、

0:44:07	単にそれだ形なんだよね。
0:44:16	此花Cはちょっとわかりやすく、比較的わかりやすい、いいけど他もみんな同じで、
0:44:23	結局、今回の地震等で、
0:44:27	最初は駄目だったやつが、そこに実はあるわけですよ。
0:44:33	もともとね。
0:44:36	正しいプロセスを踏んだかといったときに、
0:44:40	正しいプロセスがなかったはずなんでは、
0:44:45	C、
0:44:46	ね、できるプロセスも踏んでないよね。
0:44:50	正しい流れでもやってね、やってないしね。プロセスも足りないし、
0:44:56	っていうのは、そこかしこにあったんじゃないの。
0:45:01	だからそこを一新したわけでしょ。ね。だからこそそこをやっぱり強調しながら、説明がちゃんとしたことをやったんだったら、ちゃんとしたという説明をすればいいだけだよ。
0:45:18	ちょっとそこは、説明を改善するっていうかね。はい。
0:45:24	何っていうところをもう少し、
0:45:28	元気するそれが多分Steeringチームの八咫梨衣ではあると思うんだよね。
0:45:37	我々は多分そうしないと正しい見方ができないんだよね。
0:45:41	この間たまたまさね、こういうやってる人たちの話を聞いたからさ。
0:45:48	そっちはよっぽどわかりやすいんだよね。あの人だって変なジャッジじゃなくて、やったプロセスしか説明しないからさ。
0:45:58	でね、そこにはちゃんと科学的なね、背弧根拠の中での説明がされるからよっぽどわかりやすいんだよね。
0:46:07	そういうのをどうまとめて、
0:46:10	説明していくかっていう
0:46:13	ことにしかないよね、皆さんの役割をね。
0:46:21	わかった。
0:46:23	さっきやっていけないといけないこと。
0:46:27	はい。思いますので、ちゃんとかう見るわけですか。資料に反映して、またご提示したい。
0:46:37	はい。
0:46:39	資料IFっていうかね。はい。

0:46:42	そうそういうのがわかる根拠を、やはり説明上、流れの中で、言葉よりエミした方がいいなっていうやつが
0:46:54	ね。
0:46:54	ご説明するんじゃないんだよね。
0:46:58	わかりやすく説明する言葉よりも、エミの方がいいんですか、これ見てくださいと。
0:47:05	音の方が早いだけだよ。はい。だから何かそういうふう考えた方がいい資料づくりに走っちゃ駄目なんだよ。はい。
0:47:12	だから最初にこう、何をってさっき言ったでしょ。そうすると自然的にこういうのが、
0:47:18	それを置いてくださいですね、全部オカミみたいな説明なしでカミタイラ。
0:47:23	ごめんなさい。
0:47:25	やってください。
0:47:31	頑張っ、はい。
0:47:33	はい。はい。日本建設おっしゃっていただいたところ、この話だけではなくて、
0:47:41	我々の原燃が説明してきた、その結果ありきというか、と、プロセスのところをどういう考えでそういうふうに抽出したかとか、どう考えて処理したかってのは一切なく、結果だけで、その妥当性を説明しようとして何か、
0:47:55	理屈の話が合わないというんで、
0:47:58	審査が進まないというふうなこともあったんで、すいませんそこじゃなくてちゃんと正しいプロセスを踏んでないから、もっともっと、今、
0:48:08	芦田のプロセスっていうところは非常に
0:48:11	Steeringチームとして大事にしなきゃいけないところかなと。
0:48:15	ましたので、ちょっとノモトだけじゃなくて我々がその認識で、
0:48:20	どうやっていくといったものが大事だと思いました。
0:48:23	イシイソウノフチセがですね、このさ、説明資料見たら、多分よくわかると思うんだけどね。
0:48:31	ねえ、結果だけ示してない。
0:48:37	ねえ。なんでこれいいのって聞くと、ぐじゅぐじゅ言うわけだよね。根拠にしてるって言ったらないんだよね。
0:48:48	ます。
0:48:50	今回ちゃんとする点は、はい。
0:48:54	今回みたいな、時間かかる。本当にそんな時間かからなかったんだけど、

0:48:59	だからそこにまた、現実的な変なタッチがそこかしこに入ってきたんだらうね。
0:49:08	実際には、
0:49:09	何とかしよう、だから、ここ、
0:49:12	今はさっきさっきね綺麗な世界でね、まとめて話をしたんだけれども、ちゃんと形、正しい計測をしたのかっていうところに、
0:49:22	ね、素直に入れなかったり、
0:49:27	そこですよ。その動きで、はい。だからそういう動きが、
0:49:32	もう時間が、
0:49:34	いたずらに経っただけなんで、その日からやれば、
0:49:38	ね、時短にできる場所。だからそういう意味では、本当の意味での、
0:49:44	ちゃんと科学的にしっかり一つ一つ丁寧にやっさいこうというのが、まだまだ全然根づいてないということですよ。
0:50:00	でも、これを根付かせない限り、
0:50:03	はいないね。そうすつとつまないもったいない時間を、がたくさんある。
0:50:10	だから、原理原則にちゃんと戻る。
0:50:15	はい。で、ここに戻るのが時間かかるんだよね。
0:50:20	なかなか戻らない。
0:50:23	でもね、もう戻った方が早いよ。
0:50:26	考えても、
0:50:29	中途半端なものも、この資料直していくんじゃないんだ。
0:50:35	もうなんか随分違うなと思った時からね。
0:50:38	よろしく。
0:50:42	でも、この一部が使えるかもしれない。
0:50:45	何か言うてね。
0:50:47	そういうふうな思考に変えていかないと。
0:50:52	何とかこいつを直そう。
0:50:55	こいつ環境的にだから、根本も見れてないということね。
0:51:00	本質がね。
0:51:04	本質を見ると、
0:51:06	これを直しに行くのは、結果的に新しく作った方が早いというジャッジに行きつけない。
0:51:15	それをだから、全体的に直さないといけない。特に皆さんの方がね、

0:51:20	ね。
0:51:22	資料直しに行ってね。
0:51:26	なるほど。
0:51:27	普通仕事のやり方が多くない。
0:51:32	でしょ。
0:51:35	ちゃんと正しい場所。
0:51:37	使えるっていう。
0:51:43	原燃の場合ずっとエミてるからね。
0:51:50	意識していない。
0:51:55	これはもう疲れて、
0:52:02	観点だと違うのかもしないけどね、観点だと資料直しに行くぐらいでね、けがが軽いのもかもしれないんだけど、
0:52:11	なんていうの、外傷じゃねえからさ。
0:52:15	ね、解消だと佐介比例とかひどくないっていうのは見てわかるじゃん。
0:52:19	ねえ。
0:52:20	これさ、多分原電のそれをね、傷で例えると、解消じゃなくてナカだからさ、わかんねえんだよ。
0:52:29	わかりにくいんだよ、見てもわかんないから。
0:52:32	ね。
0:52:34	ちゃんと、
0:52:36	5ミリってね。
0:52:39	検査してっていう手間かかるんだろう。
0:52:44	疑似傷が入ってるというんじゃないから、中にさ、
0:52:49	ね。
0:52:51	ただ何か板井も感じてないかもしれないよ。
0:53:03	このケース痛く感じた方がいいかもしれない。ここにてってわかったほうが直しやすいよね。
0:53:10	そこ痛いだろうって言っても下げております。
0:53:15	なんて言うかわかんないんだよね多分ね。
0:53:18	だから、厄介な、
0:53:19	いずれにしろ、今日、この話は、そんな感じで取れ策
0:53:24	ドイ平田里奈
0:53:27	と、この、とりあえず一旦ヒアリングとしては閉めて、またんですけども、正しい形で、こうなんていう説明を資料的には、何か 5 日。

0:53:37	えっとですね介護資料だけ週間、
0:53:43	火曜日に提出の予定になってますんでそれに野瀬よと。
0:53:50	で、大体雰囲気、
0:53:52	わかった。いや、データここで今雰囲気わかったっていうのは何か。
0:53:57	僕なんか資料作ってね、雰囲気こんな感じだっていうか、はい。わかった。はい、わかりました。本当に、いや、そこはそれが、
0:54:09	これはいいけどね。いやそういうこれまでかっこいいじゃないね。
0:54:16	でさ、こうなんか現物ですよ。はい、根井で。
0:54:20	また、わかります。
0:54:21	そうですね。はい。
0:54:23	はい。
0:54:27	岸野さん、他の人も何か書かれた、これはもう、
0:54:32	はい、じゃあ、政調会ですとか、規制庁側から特になければ、
0:54:37	振り返りも別にいいですよ。はい。
0:54:40	ただ、現場の会合で結果発表会じゃなくてプロセス説明しないっていうのは、午前中も言われてるし、今までも何回も言われてる話なんで、
0:54:51	何か別に今日改めてそうなのかっていうことでもないですから、
0:54:57	はい。しっかりできるように、よろしくお願いします。他、原燃側含めて何かないですか。
0:55:03	はい。
0:55:04	ございません。はい。
0:55:05	それではそのほか、何とかよく、よくわかります。
0:55:11	わかります。はい。
0:55:13	だから、ちょっとその観点で、はい。来たばかりなんで、何となくわかったんだろうから、まだあんまり色ついてないから、
0:55:22	言ってもらいます。そうそうそう。はい。
0:55:25	そうですね。話だけだそうなんで資料作るじゃないで今日の話に戻るわけですよ。
0:55:32	でね。
0:55:33	はこうだったなとか。そこをちゃんと、
0:55:37	ちゃんと見ることだよ。ね。
0:55:39	中身がわかんなくてもいい。
0:55:41	これ中身を持ったので、
0:55:45	そういうふうなスタイルになってるかだけでも、

0:55:49	随分違う。
0:55:50	でもこれがまた元が悪いところで、チェックが正しいチェックが行われ ないんだよ、担当者が作ったやつがそのまま出てくるんで、なんでかって いうと、見てもよくわかんないから、
0:56:01	でもさ、見るべきところはそういう中身じゃないんでさっき言ったでしょ常 時溝じゃなくてね、地震班の先 6 見ても、だから正しいのか何だかよく わかんないって言ったじゃねえ。はい。
0:56:14	だったらね、これどうですかって聞けば、
0:56:18	その手間を、
0:56:20	入れない。
0:56:22	わかんないわ、しゃべっちゃったりする。うん。
0:56:28	いずれにしろ、
0:56:30	この話からすると、あんまりわかってないことは実はつけて逃げるから、
0:56:34	でもそれはホンダけど、はい。
0:56:36	大坪担当に伴って技術的なところは、オールジャパンの人たちのいうわ けだから、ここは何かどこかにおかしいぞとか、
0:56:46	そんなもんね。
0:56:47	直ちにチェックをすると。
0:56:50	やっぱりね。
0:56:52	いい資料ができるかな、質が高くなってるよね。
0:57:02	だけでも質が高い。
0:57:06	加筆高いのは別に出さなくてもいいけどさ。
0:57:09	ただ質が高いっていう意味では何か美しいっていうトガシ違った世界で の美しさだからね。
0:57:19	綺麗にグラデーションつけるところじゃないか。
0:57:25	はい、そういうことで終わりにしましょうか。はい、じゃあ、今日のヒアリン グはここまでどうします。お疲れ様でした。ありがとうございました。